電動リアルゲート　保証書

お引渡し日	平成　　年　　月　　日
お客様	ご住所
	お名前　　様
	電　話　　（　　）

※お引渡し日、お客様名、施工店名が不明の場合は、保証し兼ねますので施工店に必要事項を記入していただいてください。
又本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

販売・施工店	住所・店名　　印 電話　　（　　）

1. ☒保証期間
施工者よりの商品の引き渡し日から起算して１年間。

2. ☒保証内容
取扱説明書、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が生じた場合には下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。

3. ☒免責事項
保証期間内でも次の様な場合は、有償修理となります。
(イ)当社の手配によらない第三者の加工、施工(基礎工事、取付け工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養正不良に起因する変色、腐食など)
(ロ)表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に付けられた場合の不具合
(ハ)建築躯体の変形など商品以外に起因する商品の不具合
(ニ)商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩擦など)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)又はこれらに伴うさび、かび又はその他の不具合
(ホ)商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食又はその他の不具合(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など)
(ヘ)天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合又はこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
(ト)実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合
(チ)犬、猫、鳥、鼠などの小動物又はつるや根などの植物に起因する不具合
(リ)引き渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
(ヌ)お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部品取外しを含む)に起因する不具合
(ル)本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
(ヲ)犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
(ワ)電池・電球等、消耗品の損傷や故障

※保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

■お問い合わせは

DAISEN

株式会社 大仙 建材事業部
〒440-8521☒愛知県豊橋市下地町字柳目8
TEL:0532-54-6559☒FAX:0532-57-1760

お客様相談窓口
0120-44-6524
■受付時間☒9:00～12:00
☒　　13:00～17:00
(土・日、祝日、GW、夏季・冬季休暇を除く)

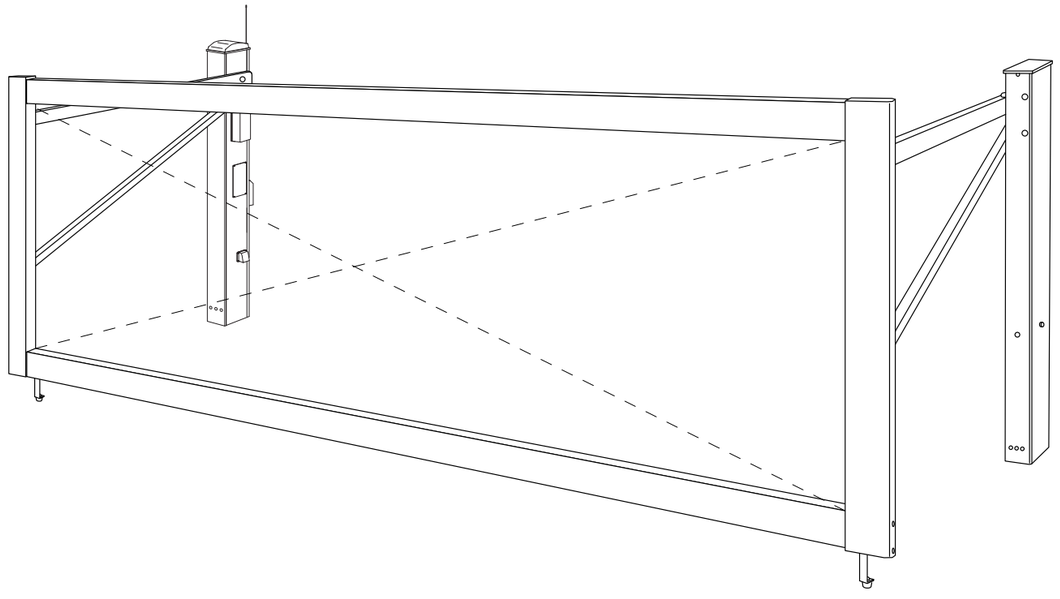
札幌支店	011-612-6433(代)	名古屋支社	052-902-1851(代)
仙台支社	022-306-3421(代)	関西支社	072-643-1821(代)
関東支社	048-970-1133(代)	広島支店	082-875-1210(代)
神奈川支店	046-224-8472(代)	九州支社	092-501-6414(代)
中部支社	0532-54-6524(代)	新城工場	0536-25-0936(代)

お客様用

跳ね上げ式門扉

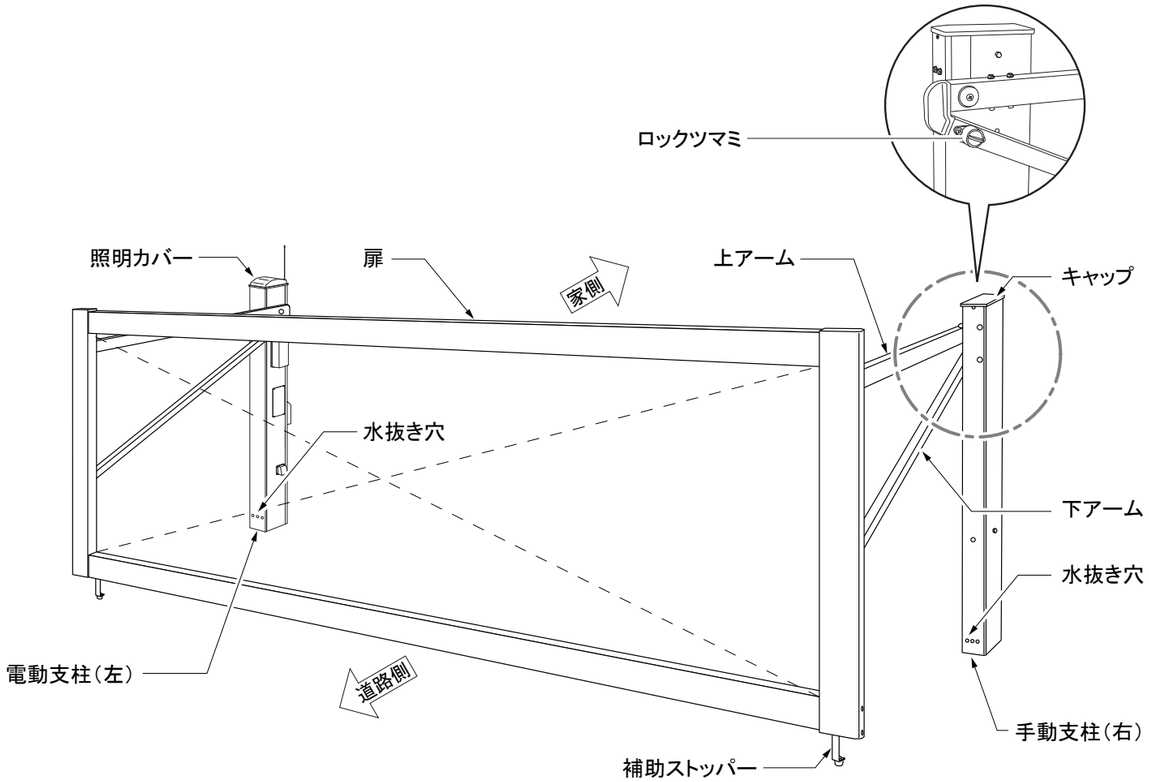
電動リアルゲート

取扱説明書



DAISEN

各部の名称



※門扉サイズ、種類により外観は多少異なります。

安全にご使用いただくために

このたびは跳ね上げ式門扉「電動リアルゲート」をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
ここに示した警告事項は、製品を安全に正しくお使い頂くことで、事故等を未然に防止するためのものです。

マークの表示について

⚠ 警告… 誤った取扱をすると、人が死亡・又は重傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

仕様

項　目	仕　様
入力電圧	AC100V (50/60Hz)
消費電力（動作時平均）	35 VA（モーター）
モーター定格出力	15 W
開閉時間	約 15 秒
操作方法	押しボタンスイッチ、リモコン
リモコン到達距離（見通し距離）	約 15 m

お手入れについて

年に2～3回水洗いをし拭きとってください

●汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らぬよう水洗いをし拭きとってください。
●支柱には機械部品が内蔵されていますので、直接ホースなどで水洗いをしないでください。
雑巾などで汚れを軽く拭きとってください。
●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。塗料がはげたりすることがあります。

アフターサービスと保証について

●転居されるときは
ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

●保証について
この商品は保証書付です。保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認頂き、大切に保管してください。
保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

●アフターサービスなどでお困りの場合は
アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店、又は工事店にお問い合せください。

●補修部品の保有期間について
当製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
本仕様ならびに部材は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

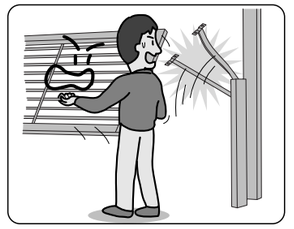
修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理をする前にお調べください。 それでも解決しなかった時には、修理を依頼してください。
決してご自分では、分解・修理をしないでください。

このようなとき	点　検	処　置
扉が動かない	扉軌跡上に障害物などがありませんか？	障害物を取り除く
	ロックツマミがロック状態になっていませんか？	ロックツマミを解除する
電動で作動しない	電動支柱の電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	電源スイッチを「ON」にしてください (5ページ参照)
電源スイッチを「ON」にしてもリモコン送信機の電源ランプが点灯しない (4ページ参照)	ヒューズが切れていませんか？	必ず、電源スイッチを「OFF」にしてからヒューズを交換してください ヒューズホルダーはねじ込み式です ヒューズ定格:1A (ミニガラス管ヒューズ) (予備として1ヶ添付しています)
リモコン送信機の開閉スイッチを押しても動かない	リモコン送信機の電源スイッチが「OFF」になっていませんか？	リモコン送信機の電源スイッチを「ON」にしてください (6ページ参照)
	リモコン送信機の電池が消耗していませんか？ (動作LEDが点灯しますか？)	新しい電池に交換してください (8ページ参照)
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか？	見通し距離15m以内で操作してください
	追加リモコン送信機の場合、ディップスイッチを同じ位置に設定しましたか？	同じ位置に設定してください
照明が付かない	ランプが切れていませんか？	ランプを交換してください (10ページ参照)
	作動時点灯モード，門柱モードになっていますか？	照明の設定をしてください (9ページ参照)

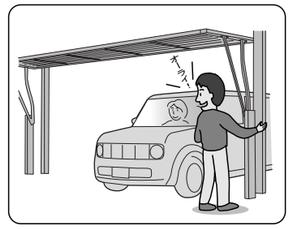
製品使用上の注意事項

この取扱説明書通りにご使用ください。



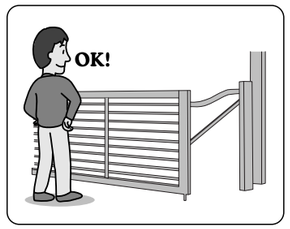
⚠警告

扉はアームから外さないでください。
扉を外すとアームが
勢いよく跳ね上がり危険です。



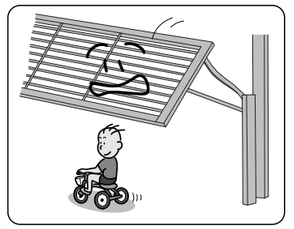
⚠警告

扉の動きが止まったことを確認してから、人や車の出入りを行ってください。扉を完全に上げずに出入りしますと扉が戻ったり、落下してケガをしたり、車をキズつけるおそれがあります。



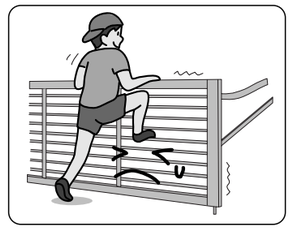
⚠警告

上げたまま放置せず、必ず1回毎に扉を下におろしてください。
強風時や降雪時など、破損や故障の原因になるおそれがあります。



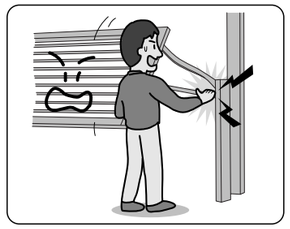
⚠警告

扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。特に小さいお子様には十分注意してください。
思わぬケガをする場合があります。



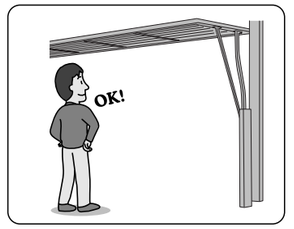
⚠警告

扉に乗ったり、寄りかかったりしないでください。
ケガをする危険があります。



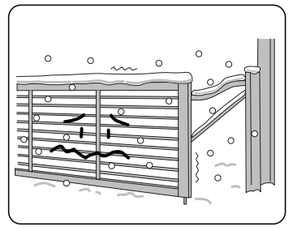
⚠警告

扉が開閉しているとき、アームと支柱の間にはさまれないように注意してください。
ケガをする危険があります。



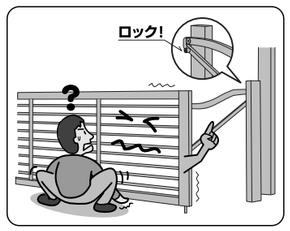
⚠警告

扉の開閉操作が終わるまで、必ず目視確認してください。目をそらすと危険です。
扉にはさまれたり、重大な事故につながるおそれがあります。



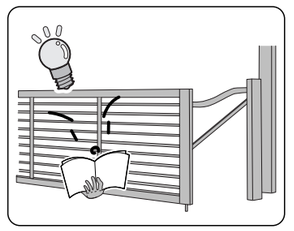
⚠警告

降雪時は扉とアームに積った雪を取り除いてから動かしてください。重みで上がらないこともあります。また、故障の原因になります。



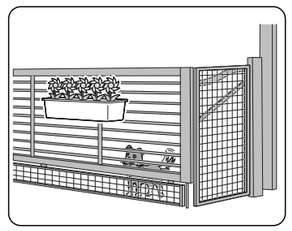
⚠警告

ロックツマミがロック状態のまま、無理に扉を開けないでください。
駆動部などを破損する恐れがあります。



⚠警告

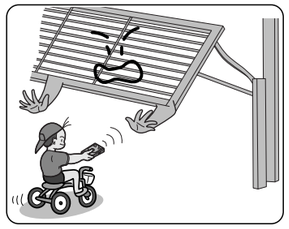
仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。故障や発熱の原因となります。また、火災等の原因につながるおそれがあります。



⚠警告

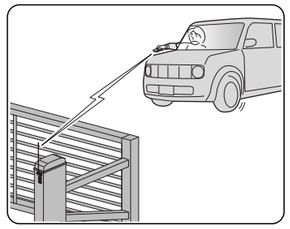
フラワーポット、ペットガード等を、扉やアームに取付けないでください。重みで上がらなくなったり、落下してケガをするなど、故障や事故の原因になります。

製品使用上の注意事項（つづき）



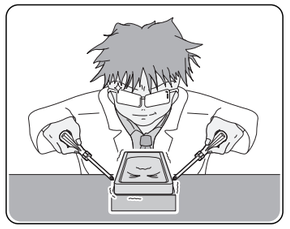
⚠警告

お子様には操作させないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警告

車を運転しながら操作しないでください。
事故につながるおそれがあります。

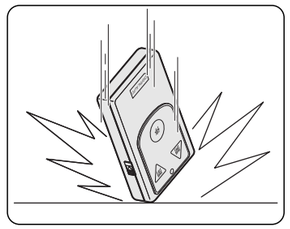


⚠警告

送信機を分解したり、改造したりしないでください。
異常な作動をしてケガをすることがあります。

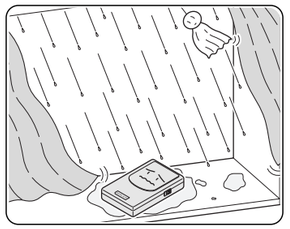
⚠警告

電動支柱内の配線にはふれないでください。
感電する危険があります。



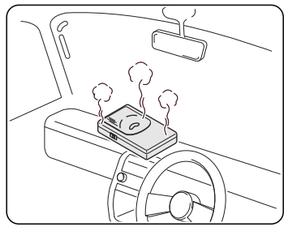
⚠注意

リモコン送信機を床に落としたり、衝撃を与えないでください。破損や故障の原因になります。



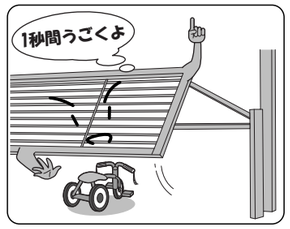
⚠注意

リモコン送信機は、雨でぬれる場所またはぬれた物の上に置かないでください。
故障の原因になります。



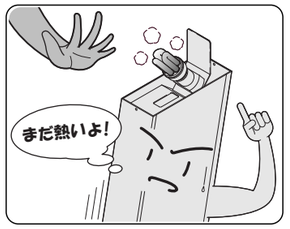
⚠注意

リモコン送信機を、温度が50℃以上になるような、夏期炎天下の車内などには放置しないでください。故障の原因になります。



⚠注意

閉時に扉が障害物に当たったときには安全装置が働き、閉時は逆方向へ約1秒間開き、停止します。
障害物を取り除き、閉または開ボタンスイッチを押して扉を動かしてください。



⚠注意

点灯中や消灯直後のランプに触らないでください。
やけどの原因になります。

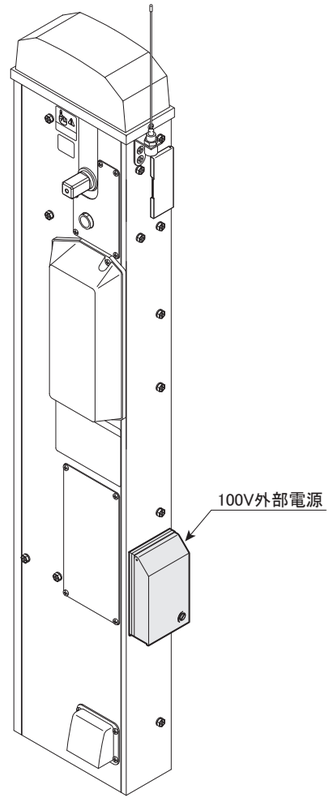
⚠警告

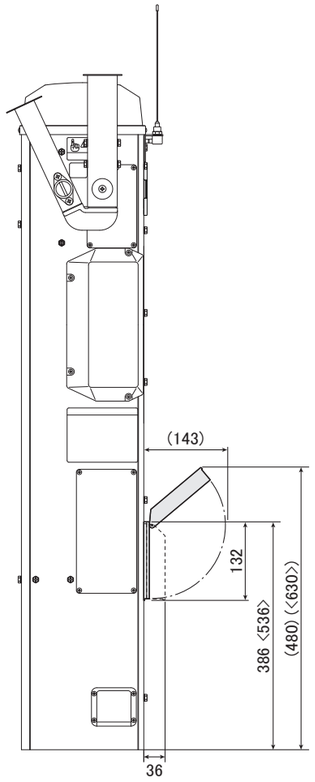
・小学生以下の子供には使用させないでください。
・ご自分では修理しないでください。大変危険です。
・部品の分解や改造は絶対にしないでください。

100V外部電源（メーカーオプション品）

⚠注意

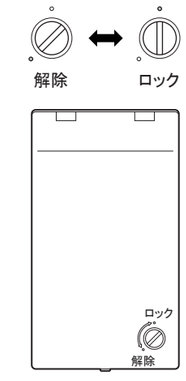
・AC100V 15A以下で使用してください。
・ご使用の際、カバーはなるべく下げてお使い下さい。
また、使用後はカバーを確実に閉じてください。



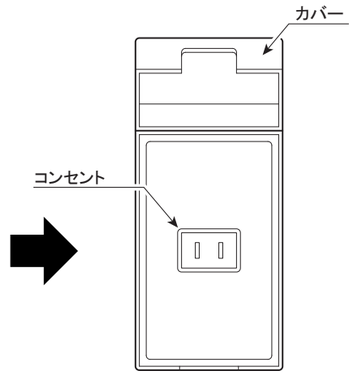


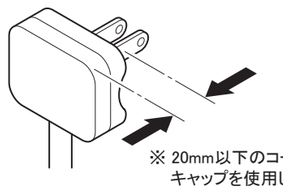
〈 〉内寸法はハイルーフ

【簡易錠とコンセント】



※ コイン等で回してください





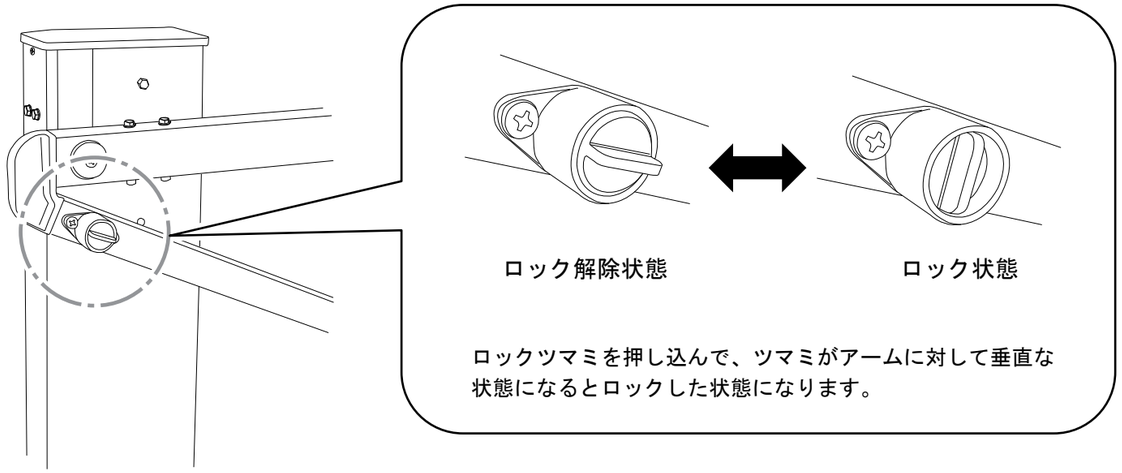
※ 20㎜以下のコーナーキャップを使用してください。

⚠注意

・キャップの高さが20㎜を超える場合は、カバーが完全に閉まりません。

ロックツマミの使用方法

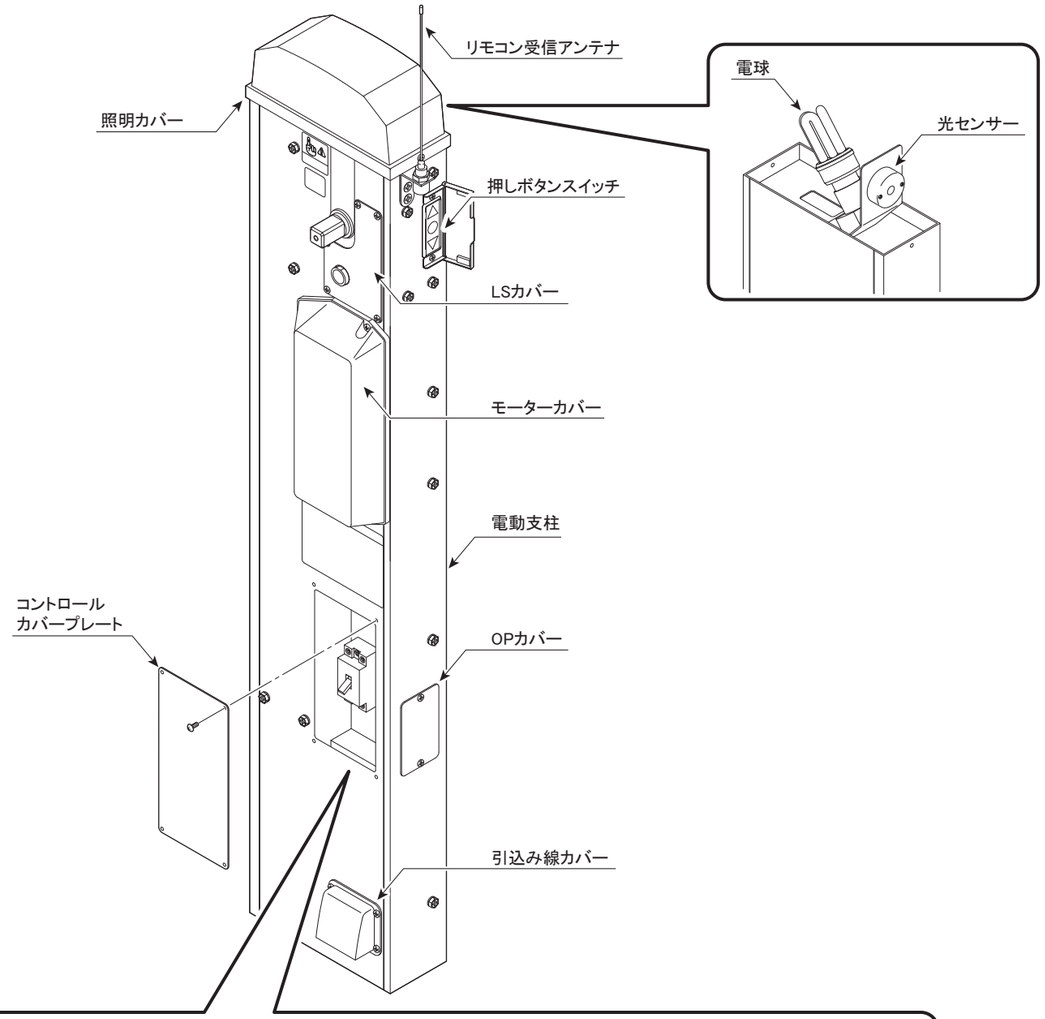
ロックツマミにより、扉を固定（ロック）することができます。
（電動で作動させる場合は、ロックを解除してください。）

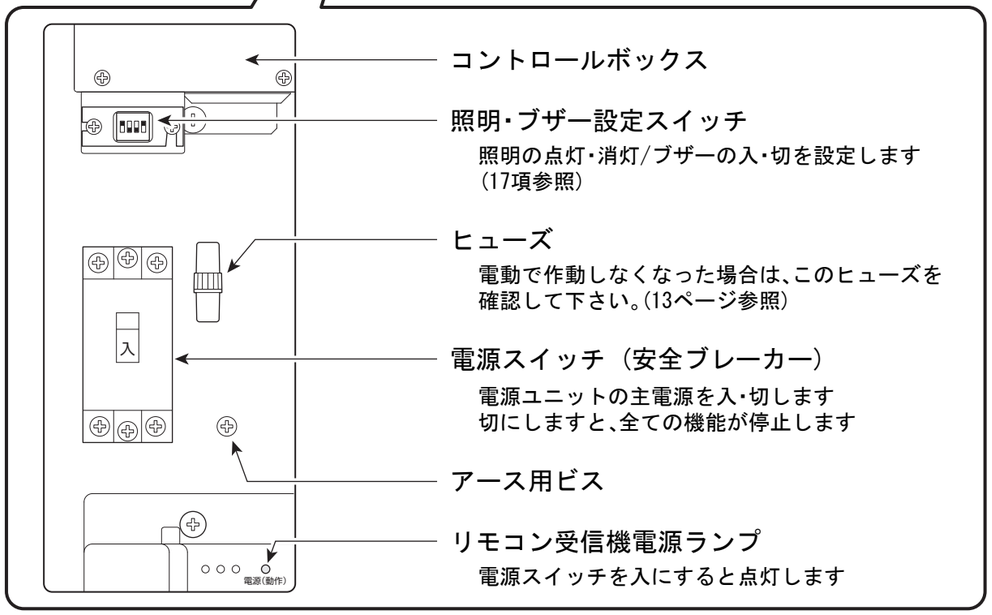


⚠ 警告… 本品には自動施錠機能はありません。強風時や長期間外出する時は、安全の為ロックツマミをロック状態にして扉を固定してください。

⚠ 警告… 扉の開閉時には必ずロックツマミを解除の状態にしてください。ロック状態のまま開きますと、駆動部が破損する恐れがあります。

各部の名称と働き（電動支柱）





準備

① ロックツマミが解除されているか確認してください。
（11ページ参照）

※ 初期設定がすでに終了し、電源スイッチが入っていれば、（押しボタンスイッチで操作が可能であれば）以下のステップは省略可能です。

【初期設定する場合】

⚠ 注意
・扉を開閉させますので、障害物は事前に取り除いてください。

② コントロールカバープレートを外します。

③-1 押しボタンスイッチの“停止”を押したまま、電源スイッチ（安全ブレーカー）を『入』にしてください。
（受信機電源ランプが点灯し、ブザーが2回鳴ります）

③-2 押しボタンスイッチの“開”を押し、全開させてください。

③-3 押しボタンスイッチの“閉”を押し、全閉させてください。

③-4 押しボタンスイッチの“停止”を押し（押したまま離さないこと）、5秒後に設定が完了します。
（ブザーが2回鳴ります）

④ 必要に応じて、照明・ブザーを設定します。
（設定の仕方 9ページ参照）
【出荷時の設定】
・ 照明 ‥‥‥‥ “作動時点灯モード”
・ 警告ブザー “鳴る”

⑤ コントロールカバープレートを取付けます。

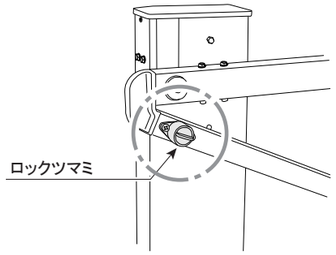
【初期設定が終了している場合】

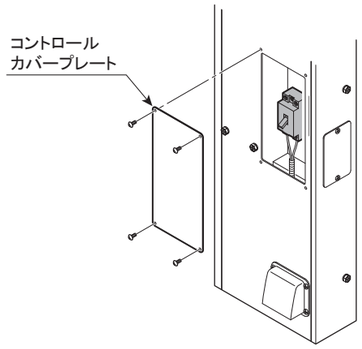
② コントロールカバープレートを外します。

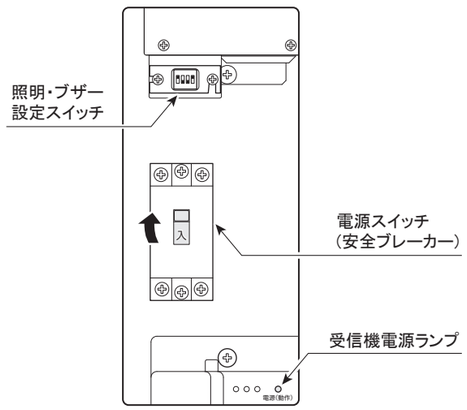
③ 電源スイッチ（安全ブレーカー）を『入』にしてください。
（受信機電源ランプが点灯します）

④ 必要に応じて、照明・ブザーを設定します。
（設定の仕方 9ページ参照）
【出荷時の設定】
・ 照明 ‥‥‥‥ “作動時点灯モード”
・ 警告ブザー “鳴る”

⑤ コントロールカバープレートを取付けます。







照度センサーによる動作設定について

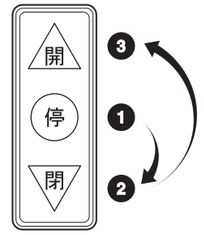
周囲の暗さにより、照明の点灯レベルを設定することができます。

< 点灯照度のポイント >

通常動作時は10分間の平均を取っておりますので、クリアーして照明を消灯し、明るさが安定してから10分以上経過してから設定してください。

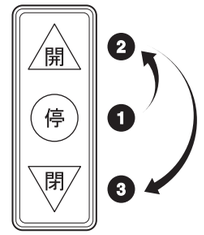
【点灯照度クリアー操作】

・すでに設定されている点灯照度レベルをクリアーします。
押しボタンの操作は全て押したままでの操作となりますから、手は離さないで行ってください。
①押しボタンの操作順序は、最初に“停”を押します。
②押したままで、次に“閉”を押します。
③最後に2つの押しボタンを押したままで、“開”を押します。
④全てが押されたままで約5秒後にブザーが2回なり、設定されていたデーターがクリアーされます。
照明が点灯している場合には、その時点で消灯し、新たに設定されるまでは点灯しません。



【点灯照度設定操作】

・新たに点灯させる照度を設定します。
（照明の点灯レベルは、設定時の周囲の明るさによります。照明を点灯させたい明るさの時間帯に以下の設定を行ってください。）
押しボタンの操作方法は上記のクリアー方法と同じですが、順序が違いますから注意してください。
①押しボタンの操作順序は、最初に“停”を押します。
②押したままで、次に“開”を押します。
③最後に2つの押しボタンを押したままで、“閉”を押します。
④全てが押されたままで約5秒後にブザーが2回なり、照明が点灯します。これで、新しい照明レベルの設定が完了します。



ランプの交換について

< 使用ランプ >

・ 電球型蛍光灯
東芝ネオボールZ（EFD10EL/9-E17）

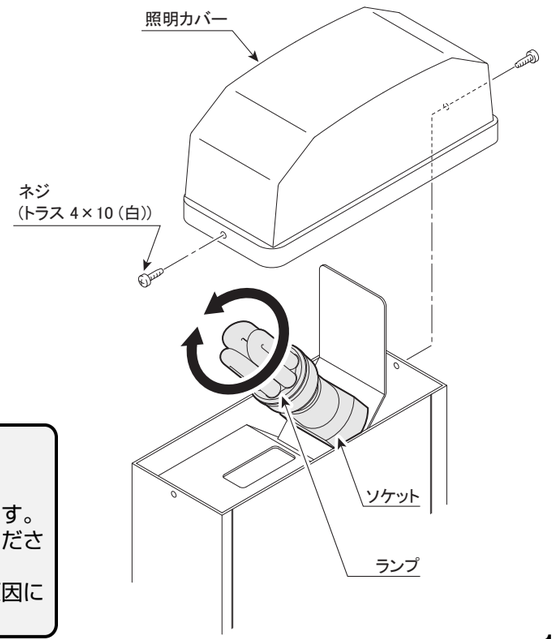
【交換手順】

① 取付ネジ（トラス 4×10（白））を外し、照明カバーを取り外します。

② ランプを交換します。

③ 照明カバーを元に戻します。（4項参照）

⚠ 注意
・ランプ交換の際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で作業を行うと、感電の原因となることがあります。
・点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手を触れないでください。やけどの原因になります。
・間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災の原因になります。



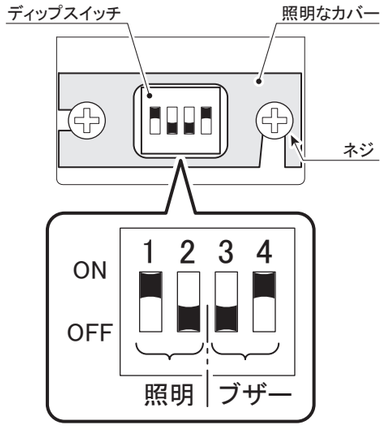
照明・ブザー設定について

照明の設定モードと、ブザーを設定できます。

・カバーを固定しているネジを少しゆるめ、透明なカバーを取り外します。
（落下させないよう注意して取り外してください。）

・ディップスイッチは確実に切り替えてください。

・スイッチ切り替え後は、カバーを取り付けてネジを締め込んでください。

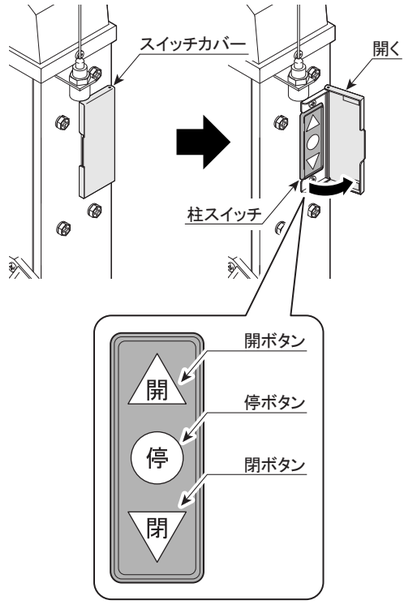


照明・ブザーの設定

モード/ブザー動作状態	ディップスイッチの状態	動作説明
消　灯	ON / OFF　1 2	消灯状態です
作動時点灯モード（出荷時）	ON / OFF　1 2	作動スタートから点灯し、作動完了後、およそ30秒間点灯します ＊照度センサーが働きますので、周囲が明るい場合は点灯しません（照度センサーの設定は10ページ参照）
門柱モード	ON / OFF　1 2	照度センサーにより、周囲が暗くなると点灯します ＊門扉の動作に関わらず点灯します（照度センサーの設定は10ページ参照）
常時点灯モード	ON / OFF　1 2	門扉の動作・周囲の明暗に関わらず点灯します
スイッチ設定不可（ご注意ください）（出荷時）	ON / OFF　3	手を触れないようにしてください
警告ブザーは鳴りません	ON / OFF　4	ブザーは鳴りません
警告ブザーが鳴ります（出荷時）	ON / OFF　4	本体の電源が入った状態で扉が閉じている場合、扉をこじ開けようとすると、警告ブザーが鳴ります（およそ10秒） （停電の場合は鳴りません）

使用方法

⚠ 注意
・開・閉動作中にそれぞれ逆方向操作をする場合は、必ず一度停止ボタンにより停止してから次のボタン操作をしてください。
・扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。
特に、小さいお子様には十分注意してください。思わぬケガをすることがあります。



柱スイッチでの操作

スイッチカバーを開けて操作を行ってください。
（スイッチカバーは、手を離すと自然に閉じます。）

・開ボタンを押すと、扉が開きます。（1度押せば全開まで作動します。）
・停ボタンを押すと、扉が停止します。（動作途中で停止します。）
・閉ボタンを押すと、扉が閉じます。（1度押せば全閉まで作動します。）

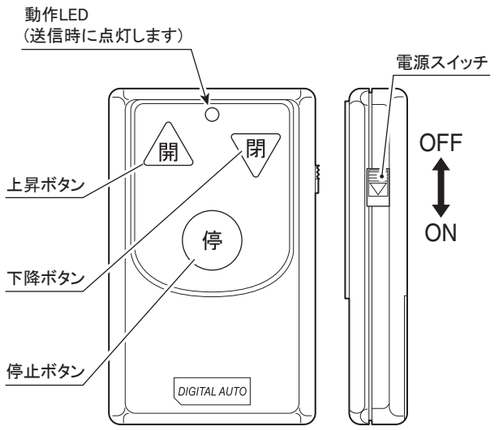
リモコン送信機での操作

• リモコン送信機は、出荷時に登録済みで電池も入っていますので、そのまま使用できます。

① 送信機側の電源スイッチを▽方向にスライドさせ電源を入れてください。

② 動作させる方向の送信機の押しボタンを確認して、送信機を受信機のアンテナに向けて軽く押してください。
自動車の車内から操作する場合は、フロントガラスに近づけて操作してください。
押している間、送信ランプ（LED）は点灯します。
＊ 金属物や鉄筋コンクリート（壁・電柱等）の障害物がある場合、動作距離が短くなることがあります。
（通常は、見通し距離で約15m）
＊ 本体の動作中は、目を離さないようにしてください。

③ 送信機の電源を切ってください。
電源スイッチ▽方向と逆方向にスライドさせて電源を切ってください。



⚠ 注意
・送信機の電源スイッチを切り忘れた場合、誤って押しボタンが押されると本体が動作しますので大変危険です。
・車を運転しながら、操作はしないでください。
・扉が動作中に人や車、障害物に衝突した時に、大事故を防ぐために安全装置を設定しています。
閉操作中に安全装置が作動した場合、約1秒後退し停止します。
安全装置が働く力は14～15kgです。

電動で動かせない場合

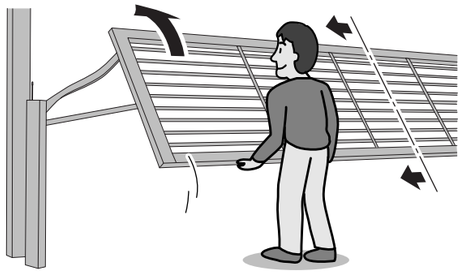
非常時(停電等)電動で動かせない時は、手動で動かすことができます。

【扉を開けるとき】

扉の中心より、やや電動柱側の下桟を持ち、
ゆっくりと開けてください。

【扉を閉めるとき】

電動柱側のアームを持ち、ゆっくりと扉を下に
下げてください。



扉の中心より、やや電動柱側の下桟を持ちます

⚠ 注意
- 扉の開閉時には、扉・アームにはさまれないようご注意ください。
- 手動での開閉は、非常時に限り行ってください。
- 扉の開閉時は、ロックツマミを解除の状態にしてください。ロック状態のままで開くと、駆動部が破損する恐れがあります。
- 通電状態で、扉を手動で開けようとすると、警告ブザーが鳴ります。

リモコン送信機について

【使用上の注意】

⚠ 警告
- 本機の分解は絶対に行わないでください。
- 本機、また使用されている電池を放置しないでください。
  幼児等が飲み込んだり、操作する恐れがありますので、幼児等の手の届かない所に置いてください。

⚠ 注意
- 送信機は、直射日光の当たる場所や、高温になる場所（例えば車のダッシュボードやリアーボード上）に放置しないでください。
- 湿度の高い場所に放置したり、雨にぬらさないでください。
  送信機を水に浸けた場合は、お買い求めの販売店で点検を受けてください。
- 送信機を投げたり、落下させたり、押しつぶすような激しい衝撃、圧力や荷重等を加えないでください。
  いずれも故障の原因となります。
- 送信機は押しボタンスイッチを鋭利なもの（例えばペン先、ドライバー等）で押さないでください。
- 送信機は使用後または使用しないとき、電源スイッチをOFF状態にしておいてください。

【電池寿命の目安】

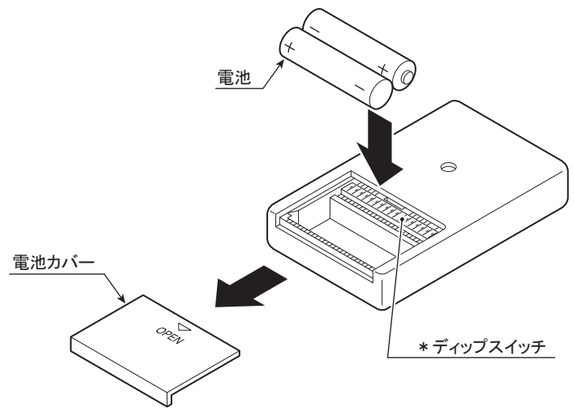
電池は使用回数により異なりますが、目安として約2年使用できます。
ご使用中、動作しなくなったり、操作距離が短くなった場合には、新しい電池に交換してください。
使用電池 ： 単4型マンガン乾電池R03 (UM-4) 2本

【電池交換方法】

①電池カバーを外します。

②古い電池を取り出し、単4型マンガン乾電池R03 (UM-4) 2本を極性を間違えないように入れてください。

③電池カバーを取付けます。



【送信機の追加方法】

送信機を追加される場合には、追加送信機の＊ディップスイッチを現在使用している送信機と同じ位置に設定してください。この時、ディップスイッチは確実にON, OFFしてください。
(追加送信機の電源スイッチ(6ページ参照)は、必ずOFFにした状態で操作してください。)
(現在使用している送信機の＊ディップスイッチは、基本となりますので触らないでください。)

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
- 硬化後拭き取りますと表面を傷めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、組立説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございます。

■お問い合わせは

株式会社 大仙 建材事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

TEL:0532-54-6559 FAX:0532-57-1760

お客様相談窓口

0120-44-6524

■受付時間 9:00～12:00
13:00～17:00
(土・日、祝日、GW、夏季・冬季休暇を除く)

札幌支店	011-612-6433(代)	名古屋支社	052-902-1851(代)
仙台支社	022-306-3421(代)	関西支社	072-643-1821(代)
関東支社	048-970-1133(代)	広島支店	082-875-1210(代)
神奈川支店	046-224-8472(代)	九州支社	092-501-6414(代)
中部支社	0532-54-6524(代)	新城工場	0536-25-0936(代)

電動リアルゲート

組立説明書

このたびは､大仙「電動リアルゲート」をお買い求めいただきまして､まことにありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ､正しくお取付けくださいますよう､お願いいたします。

お客様へ

施工の前に

●電気配線工事について

AC100V の電線の埋設工事，配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用 PF管 （呼び径 14)、電線ケーブル、アース棒が必要となりますので、用意してください。
電動用電線ケーブルは必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
電動支柱（左）には必ずアース（D種接地工事）をとってください。

●設置場所の確認

施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
母屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
開閉時に扉が公道（道路）等へ飛び出さない位置かどうか確認してください。

●梱包説明書で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

●組立、施工途中では

ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締め固定してください。
組立説明書の順序通り組付けてください。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
アルミ製品と銅板等の異種金属が接触しないようにしてください。

●基礎工事について

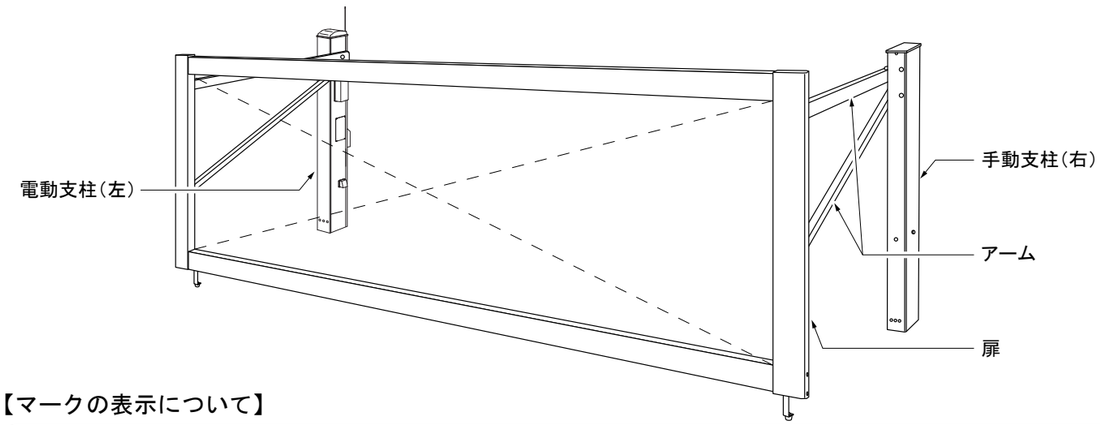
基礎寸法は、組立説明書の通りの寸法としてください。地盤の種類によっては、強度が確保できるよう十分考慮してください。
基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないでください。

●製品の改造は絶対に行わないでください。
また、支柱内に圧縮バネが入っていますので分解は大変危険です。絶対分解しないでください。

●施工完了後は

ボルト、ネジ等に緩みがないか確認してください。
施工中の汚れは取除き、誤ってつけたキズは、補修塗装してください。

●施工終了後、組立説明書は取扱説明書といっしょに施主様にお渡しください。



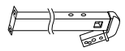
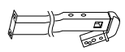
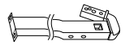
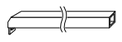
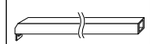
【マークの表示について】

⚠警告… 誤った取扱をすると、人が死亡・又は重傷を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠注意… 施工工事をする時に理解して頂き、正しく取付ける為の内容を表示しています。

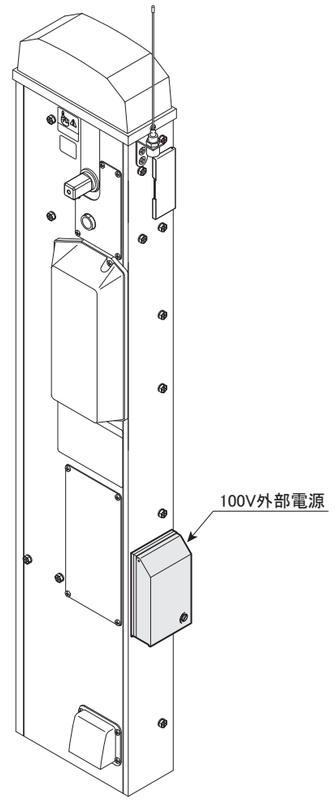
梱包説明書

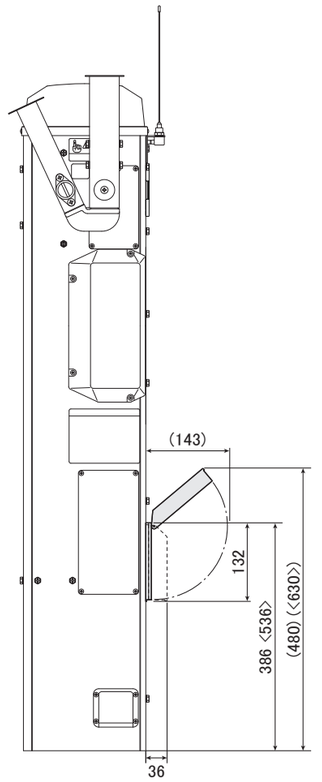
柱セット

名称		略図	員数 W27・30型 標準 H10	標準 H12	ハイルーフ H10	ハイルーフ H12	ワイド型 標準 H10	標準 H12	ハイルーフ H10	ハイルーフ H12
電動支柱(各タイプ)左			1	1	1	1	1	1	1	1
手動支柱(各タイプ)右			1	1	1	1	1	1	1	1
上アームセット(左)標準			1	1	−	−	1	1	−	−
上アームセット(右)標準			1	1	−	−	1	1	−	−
上アームセット(左) ハイルーフ			−	−	1	1	−	−	1	1
上アームセット(右) ハイルーフ			−	−	1	1	−	−	1	1
下アーム標準			2	2	−	−	2	2	−	−
下アームハイルーフ			−	−	2	2	−	−	2	2
部品箱	支柱キャップ		1	1	1	1	1	1	1	1
	トラス1種φ4×12		2	2	2	2	2	2	2	2
	ロック本体		2	2	2	2	2	2	2	2
	十字穴付六角ボルト M6×16Wセムス ネジロック付		6	6	6	6	6	6	6	6
	アーム取付金具カバー		2	2	2	2	2	2	2	2
	六角ボルト M8×15Wセムス		6	6	6	6	6	6	6	6
	照明カバー		1	1	1	1	1	1	1	1
	トラス M4×10(白)		2	2	2	2	2	2	2	2
	電球型蛍光灯(9W)		1	1	1	1	1	1	1	1
	アンテナ		1	1	1	1	1	1	1	1
	引込みカバー		1	1	1	1	1	1	1	1
	トラスM4×10		4	4	4	4	4	4	4	4
	リモコン送信機		1	1	1	1	2	2	2	2

20. 100V外部電源（メーカーオプション品）

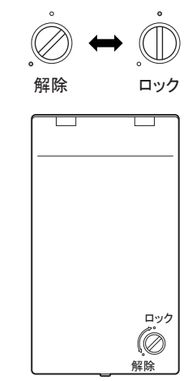
⚠ 注意
・AC100V 15A以下で使用してください。
・ご使用の際、カバーはなるべく下げてお使いください。また、使用後はカバーを確実に閉じてください。



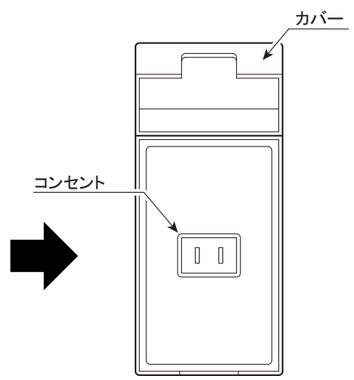


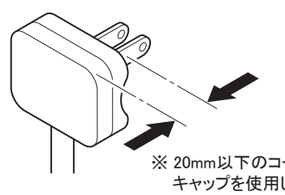
〈 〉内寸法はハイルーフ

【簡易錠とコンセント】



※ コイン等で回してください





※ 20mm以下のコーナーキャップを使用してください。

⚠ 注意
・キャップの高さが20㎜を超える場合は、カバーが完全に閉まりません。

18. 照度センサーによる動作設定について

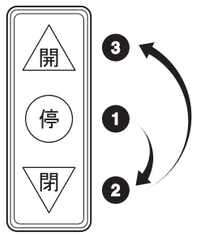
周囲の暗さにより、照明の点灯レベルを設定することができます。

< 点灯照度のポイント >

通常動作時は10分間の平均を取っておりますので、クリアーして照明を消灯し、明るさが安定してから10分以上経過してから設定してください。

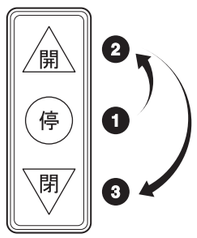
【点灯照度クリアー操作】

・すでに設定されている点灯照度レベルをクリアーします。
押しボタンの操作は全て押したままでの操作となりますから、手は離さないで行ってください。
①押しボタンの操作順序は、最初に“停”を押します。
②押したままで、次に“閉”を押します。
③最後に2つの押しボタンを押したままで、“開”を押します。
④全てが押されたままで約5秒後にブザーが2回なり、設定されていたデーターがクリアーされます。
照明が点灯している場合には、その時点で消灯し、新たに設定されるまでは点灯しません。



【点灯照度設定操作】

・新たに点灯させる照度を設定します。
（照明の点灯レベルは、設定時の周囲の明るさによります。照明を点灯させたい明るさの時間帯に以下の設定を行ってください。）
押しボタンの操作方法は上記のクリアー方法と同じですが、順序が違いますから注意してください。
①押しボタンの操作順序は、最初に“停”を押します。
②押したままで、次に“開”を押します。
③最後に2つの押しボタンを押したままで、“閉”を押します。
④全てが押されたままで約5秒後にブザーが2回なり、照明が点灯します。これで、新しい照明レベルの設定が完了します。



19. ランプの交換について

< 使用ランプ >

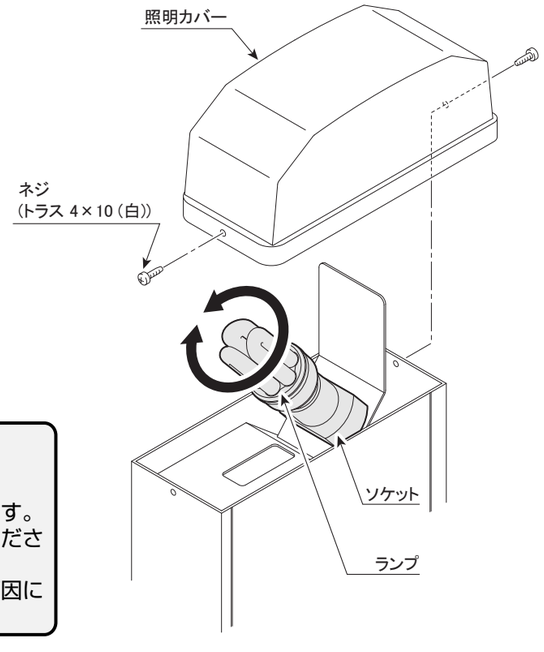
・電球型蛍光灯
東芝ネオボールZ（EFD10EL/9-E17）

【交換手順】

①取付ネジ（トラス 4×10（白））を外し、照明カバーを取り外します。

②ランプを交換します。

③照明カバーを元に戻します。（4項参照）



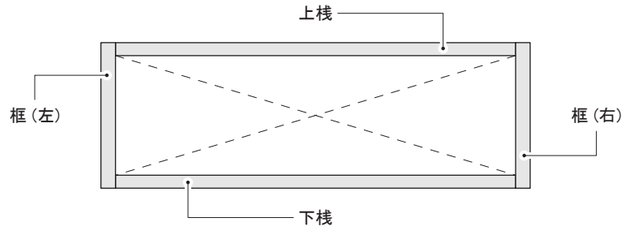
⚠ 注意
・ランプ交換の際は、安全のため電源を切ってください。
通電状態で作業を行うと、感電の原因となることがあります。
・点灯中や消灯直後は、ランプが熱いので手を触れないでください。やけどの原因になります。
・間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災の原因になります。

梱包説明書
つづき

扉セット

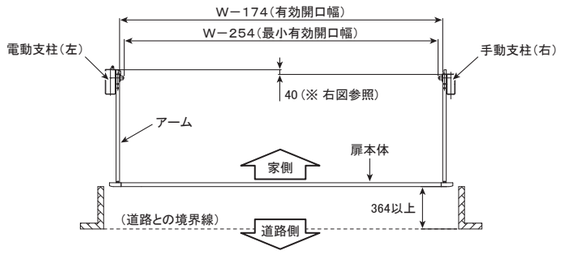
名　称	略　図	員数							
		W27・30型				ワイド型			
		標準 H10	標準 H12	ハイルーフ H10	ハイルーフ H12	標準 H10	標準 H12	ハイルーフ H10	ハイルーフ H12
W27・30型 H10タイプ（重量13kg）	上下桟形状	1	−	1	−	−	−	−	−
W27・30型 H12タイプ（重量13kg）	上下桟形状	−	1	−	1	−	−	−	−
ワイド型 H10タイプ（重量23kg）	上下桟形状	−	−	−	−	1	−	1	−
ワイド型 H12タイプ（重量23kg）	上下桟形状	−	−	−	−	−	1	−	1

【扉セット】

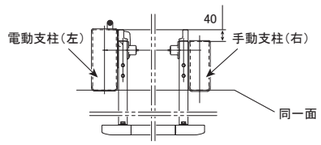


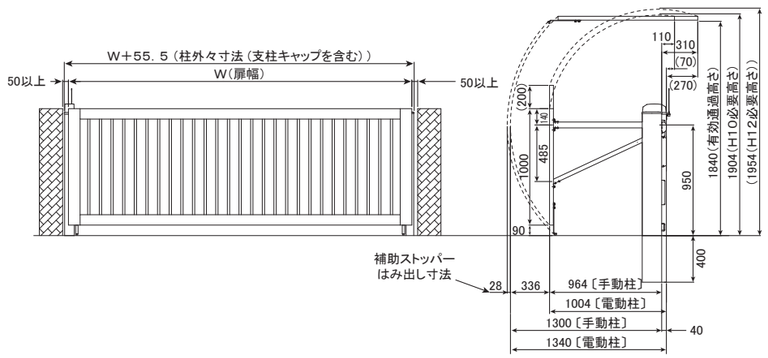
1. 姿図および基本寸法図

レギュラ標準タイプ基本寸法図



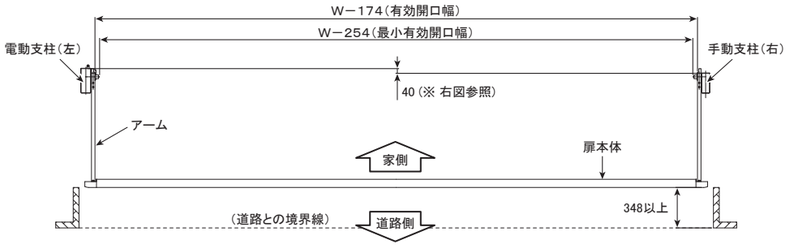
※ 電動柱と手動柱の家側面は 40mm の差があります。
※ 道路側面は同一面になります。



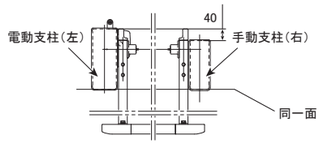


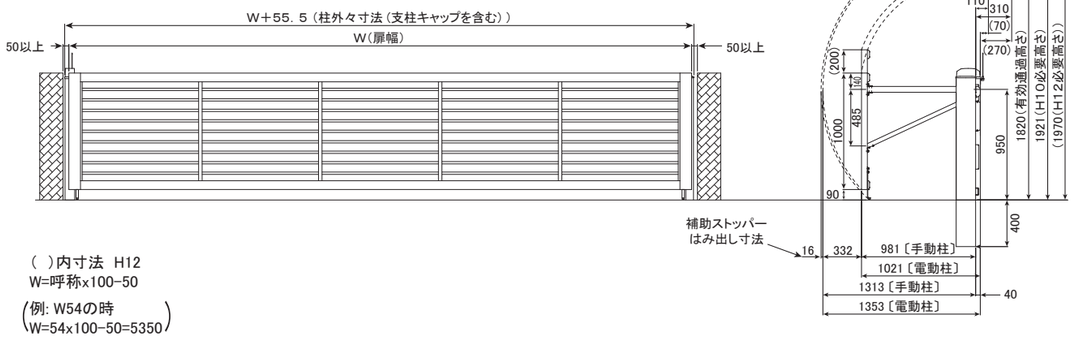
（ ）内寸法 H12
W=呼称x100−50
（例: W30の時
W=30x100−50=2950）

ワイド標準タイプ基本寸法図



※ 電動柱と手動柱の家側面は 40mm の差があります。
※ 道路側面は同一面になります。





（ ）内寸法 H12
W=呼称x100−50
（例: W54の時
W=54x100−50=5350）

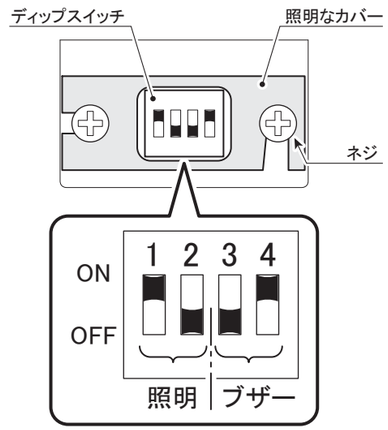
17. 照明・ブザー設定について

照明の設定モードと、ブザーを設定できます。

・カバーを固定しているネジを少しゆるめ、透明なカバーを取り外します。
（落下させないよう注意して取り外してください。）

・ディップスイッチは確実に切り替えてください。

・スイッチ切り替え後は、カバーを取り付けてネジを締め込んでください。



照明・ブザーの設定

モード/ブザー動作状態	ディップスイッチの状態	動作説明
消　灯	ON / OFF　1 2	消灯状態です
作動時点灯モード（出荷時）	ON / OFF　1 2	作動スタートから点灯し、作動完了後、およそ30秒間点灯します ＊照度センサーが働きますので、周囲が明るい場合は点灯しません （照度センサーの設定は18項参照）
門柱モード	ON / OFF　1 2	照度センサーにより、周囲が暗くなると点灯します ＊門扉の動作に関わらず点灯します （照度センサーの設定は18項参照）
常時点灯モード	ON / OFF　1 2	門扉の動作・周囲の明暗に関わらず点灯します
スイッチ設定不可（ご注意ください）（出荷時）	ON / OFF　3	手を触れないようにしてください
警告ブザーは鳴りません	ON / OFF　4	ブザーは鳴りません
警告ブザーが鳴ります（出荷時）	ON / OFF　4	本体の電源が入った状態で扉が閉じている場合、扉をこじ開けようとすると、警告ブザーが鳴ります（およそ10秒） （停電の場合は鳴りません）

16. リモコン送信機について

【使用上の注意】

⚠ 警告

・本機の分解は絶対に行わないでください。
・本機、また使用されている電池を放置しないでください。
幼児等が飲み込んだり、操作する恐れがありますので、幼児等の手の届かない所に置いてください。

⚠ 注意

・送信機は、直射日光の当たる場所や、高温になる場所（例えば車のダッシュボードやリアーボード上）に放置しないでください。
・湿度の高い場所に放置したり、雨にぬらさないでください。
送信機を水に浸けた場合は、お買い求めの販売店で点検を受けてください。
・送信機を投げたり、落下させたり、押しつぶすような激しい衝撃、圧力や荷重等を加えないでください。
いずれも故障の原因となります。
・送信機は押しボタンスイッチを鋭利なもの（例えばペン先、ドライバー等）で押さないでください。
・送信機は使用後または使用しないとき、電源スイッチをOFF状態にしておいてください。

【電池寿命の目安】

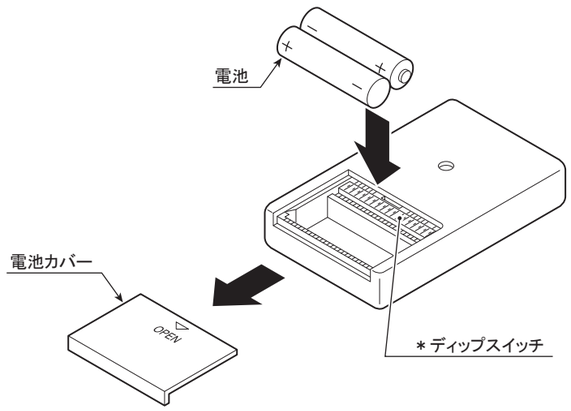
電池は使用回数により異なりますが､目安として約2年使用できます。
ご使用中､動作しなくなったり､操作距離が短くなった場合には､新しい電池に交換してください。
使用電池 ： 単4型マンガン乾電池R03 (UM-4) 2本

【電池交換方法】

①電池カバーを外します。

②古い電池を取り出し､単4型マンガン乾電池R03 (UM-4) 2本を極性を間違えないように入れてください。

③電池カバーを取付けます。

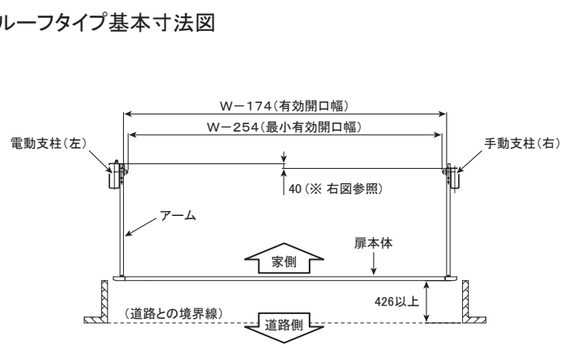


【送信機の追加方法】

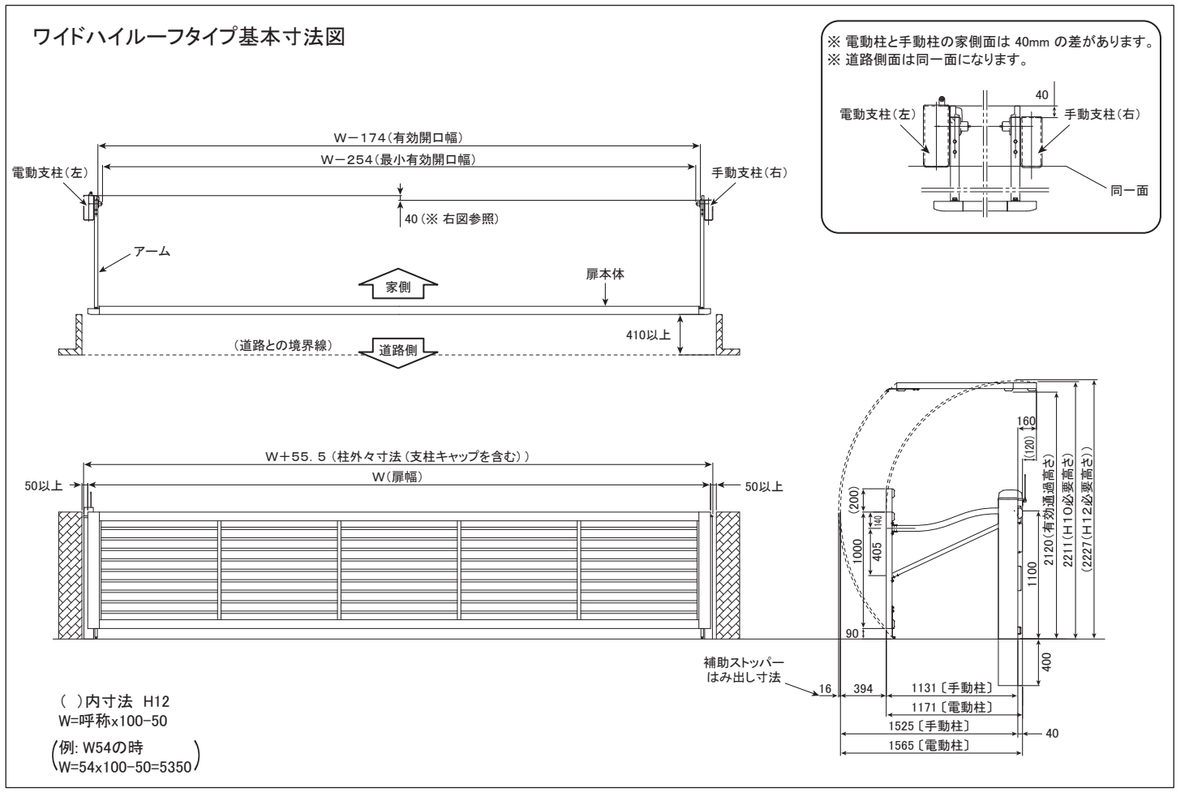
送信機を追加される場合には､追加送信機の＊ディップスイッチを現在使用している送信機と同じ位置に設定してください｡この時､ディップスイッチは確実にON, OFFしてください。
(追加送信機の電源スイッチ(14-2項参照)は､必ずOFFにした状態で操作してください。)
(現在使用している送信機の＊ディップスイッチは､基本となりますので触らないでください。)

姿図および基本寸法図（つづき）

レギュラハイルーフタイプ基本寸法図



ワイドハイルーフタイプ基本寸法図

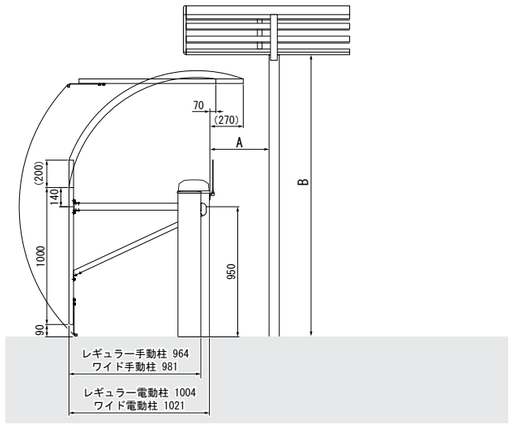


2. カーポートとの位置関係

⚠ 注意
・扉・支柱・アームを正規の取付寸法で施工した場合の数値です。
・メーカーオプション 100V外部電源装着の場合、A寸法を150以上確保してください。（20項参照）
ガードプレートのカバーがカーポートの柱に接触します。（※ハイルーフタイプのH10）

カーポートの桁下に納める時

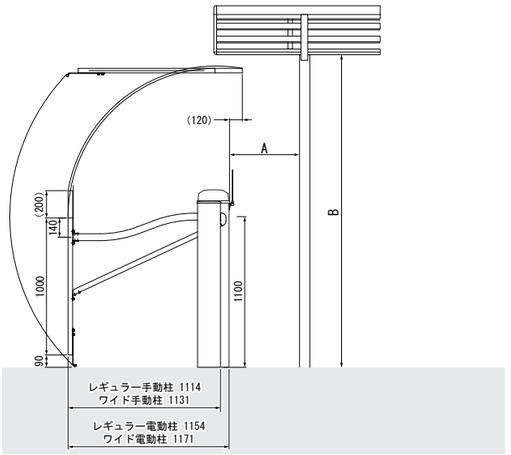
標準タイプ



扉高さ	A	B
H10	180以上	2000以上
H12	380以上	2050以上

（ ）内寸法 H12

ハイルーフタイプ

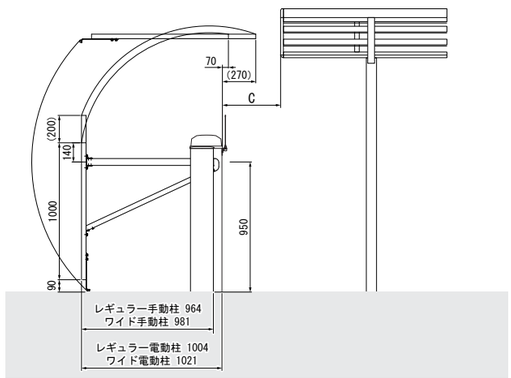


扉高さ	A	B
※ H10	60以上	2290以上
H12	230以上	2300以上

（ ）内寸法 H12

カーポートの外に出す時

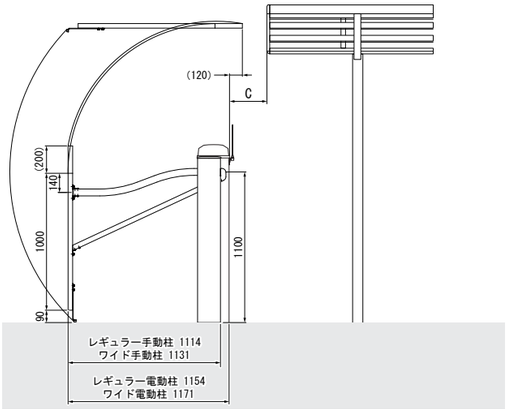
標準タイプ



扉高さ	C
H10	180以上
H12	380以上

（ ）内寸法 H12

ハイルーフタイプ



扉高さ	C
H10	60以上
H12	230以上

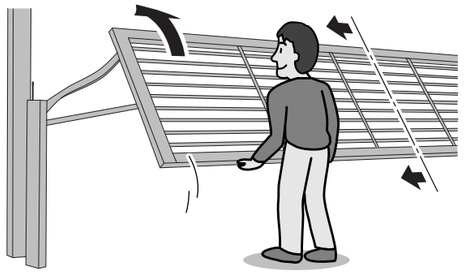
（ ）内寸法 H12

15. 電動で動かせない場合

非常時（停電等）電動で動かせない時は、手動で動かすことができます。

【扉を開けるとき】

扉の中心より、やや電動柱側の下桟を持ち、
ゆっくりと開けてください。



扉の中心より、やや電動柱側の下桟を持ちます

【扉を閉めるとき】

電動柱側のアームを持ち、ゆっくりと扉を下に
下げてください。

⚠ 注意
・扉の開閉時には、扉・アームにはさまれないようご注意ください。
・手動での開閉は、非常時に限り行ってください。
・扉の開閉時は、ロックツマミを解除の状態にしてください。
ロック状態のままで開くと、駆動部が破損する恐れがあります。
・通電状態で、扉を手動で開けようとすると、警告ブザーが鳴ります。

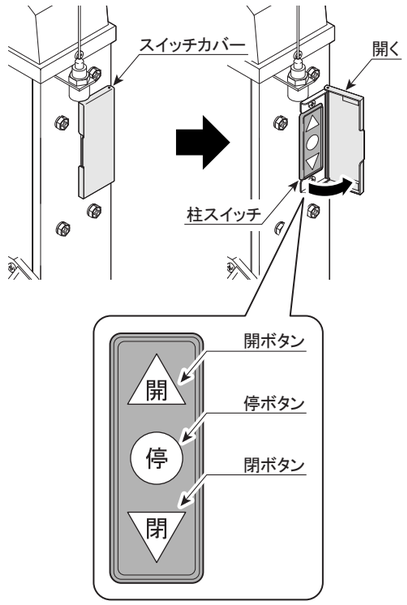
14. 使用方法

⚠ 注意
- 開・閉動作中にそれぞれ逆方向操作をする場合は、必ず一度停止ボタンにより停止してから次のボタン操作をしてください。
- 扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。
  特に、小さいお子様には十分注意してください。思わぬケガをすることがあります。

14-1. 柱スイッチでの操作

スイッチカバーを開けて操作を行ってください。
（スイッチカバーは､手を離すと自然に閉じます｡）

- 開ボタンを押すと､扉が開きます。（1度押せば全開まで作動します｡）
- 停ボタンを押すと､扉が停止します。（動作途中で停止します｡）
- 閉ボタンを押すと､扉が閉じます。（1度押せば全閉まで作動します｡）



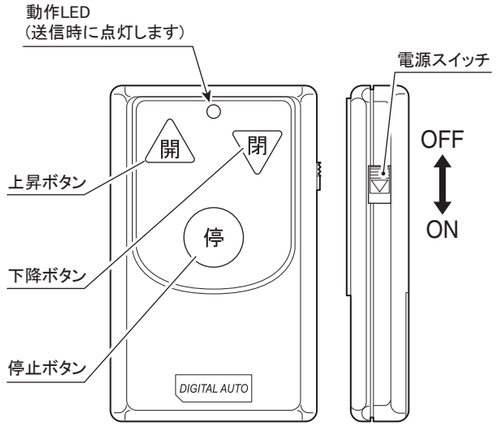
14-2. リモコン送信機での操作

- リモコン送信機は､出荷時に登録済みで電池も入っていますので､そのまま使用できます。

① 送信機側の電源スイッチを▽方向にスライドさせ電源を入れてください。

② 動作させる方向の送信機の押しボタンを確認して､送信機を受信機のアンテナに向けて軽く押してください。
自動車の車内から操作する場合は､フロントガラスに近づけて操作してください。
押している間､送信ランプ（LED）は点灯します。
＊ 金属物や鉄筋コンクリート（壁･電柱等）の障害物がある場合､動作距離が短くなることがあります。
（通常は､見通し距離で約15m）
＊ 本体の動作中は､目を離さないようにしてください。

③ 送信機の電源を切ってください。
電源スイッチ▽方向と逆方向にスライドさせて電源を切ってください。

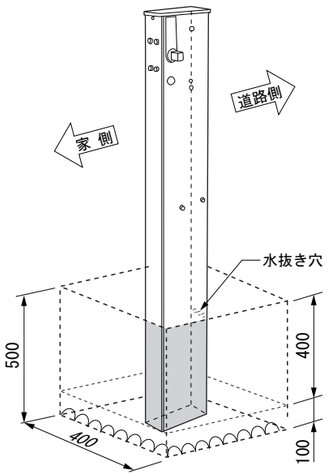


⚠ 注意
- 送信機の電源スイッチを切り忘れた場合、誤って押しボタンが押されると本体が動作しますので大変危険です。
- 車を運転しながら、操作はしないでください。
- 扉が動作中に人や車、障害物に衝突した時に、大事故を防ぐために安全装置を設定しています。
  閉操作中に安全装置が作動した場合、約1秒後退し停止します。
  安全装置が働く力は14～15kgです。

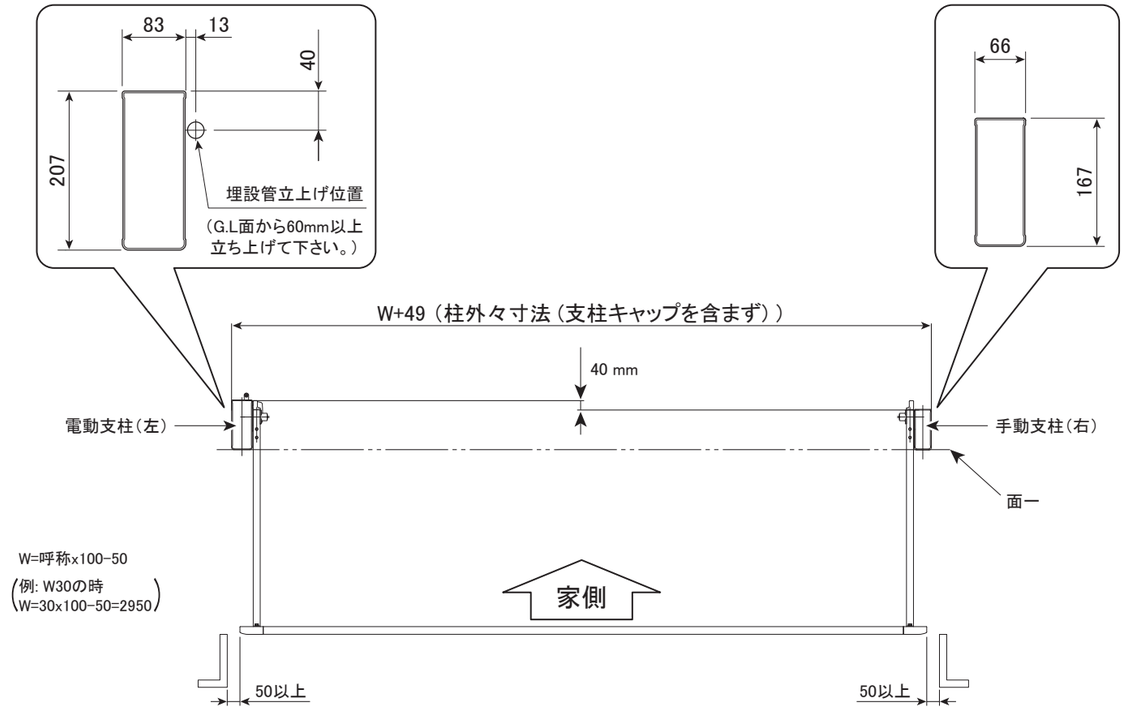
3. 基礎施工寸法

⚠ 注意1
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によっては（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分考慮してください。
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。
- 塩分を含む砂および塩素系モルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート（またはモルタル）には、急結剤を使用しないでください。使用すると腐食の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

⚠ 注意2
- 基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ず守ってください。
- 支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分な場合、扉の作動に支障が生じる事があります。
- 水抜き穴は確実にG.L面より上に出してください。水抜き穴より上までモルタルを入れると中に水がたまり、故障の原因になります。



手動支柱（右）と電動支柱（左）との位置関係



⚠ 注意 ・電動柱と手動柱の家側面は 40㎜ の差があります。

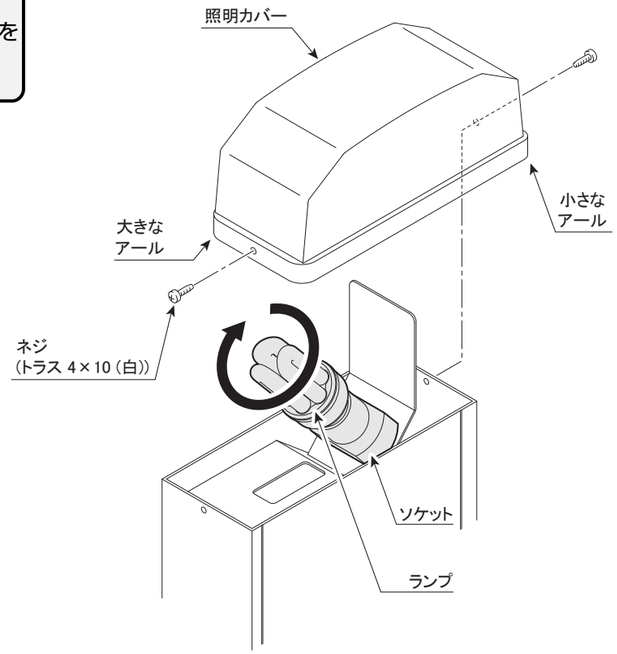
4. 照明カバー,ランプ,アンテナの取付（電動支柱）

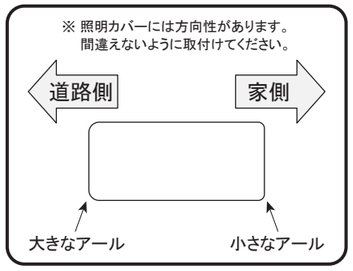
4-1. 照明カバーランプの取付

⚠ 注意
・電動柱を埋設する前に、必ずランプ、照明カバーを取付けてください。
電動柱内に雨水が入り、故障の原因になります。

① 電動柱のソケットにランプ(付属品)を取付けてください。

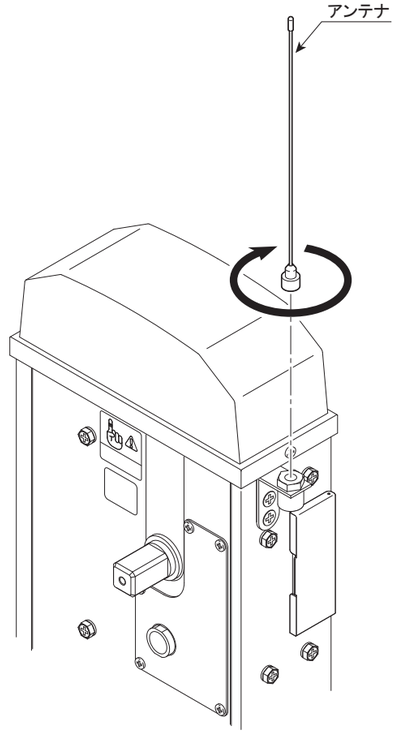
② 電動柱に､照明カバーを取付ネジ（トラス 4×10（白））で取付けてください。





4-2. アンテナの取付

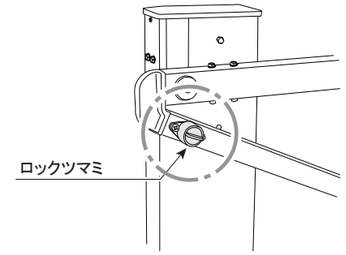
① アンテナを､ゆるまないようにしっかりと締め込んでください。



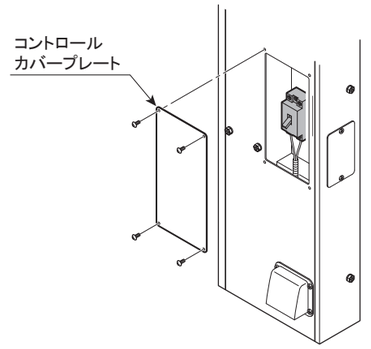
13. 準備（初期設定を行います）

⚠ 注意
・扉を開閉させますので、障害物は事前に取り除いてください。

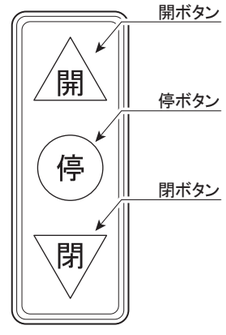
① ロックツマミが解除されているか確認してください。(8項参照)



② コントロールカバープレートを外します。



③ 押しボタンスイッチ(14-1項参照)の“停止”を押したまま､電源スイッチ(安全ブレーカー)を『入』にしてください。
(受信機電源ランプが点灯し､ブザーが2回鳴ります)

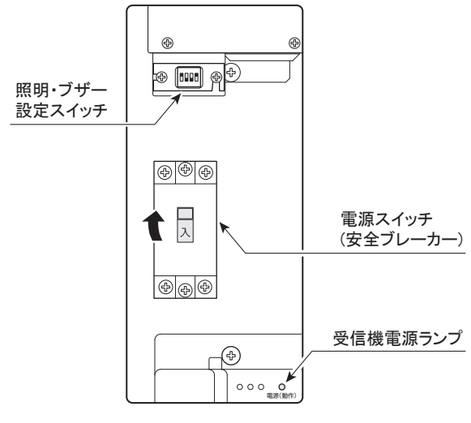


④ 押しボタンスイッチの“開”を押し､全開させてください。

⑤ 押しボタンスイッチの“閉”を押し､全閉させてください。

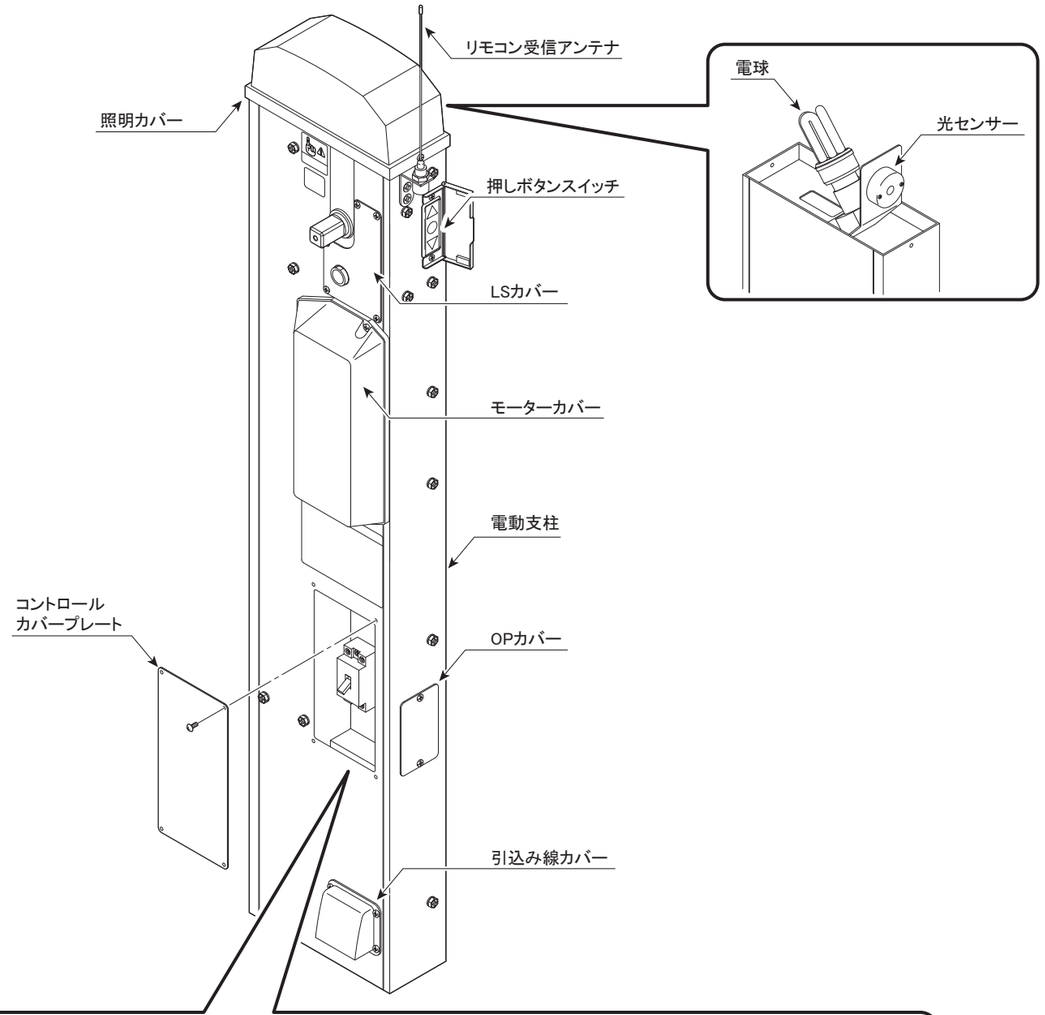
⑥ 押しボタンスイッチの“停止”を押し(押したまま離さないこと)､5秒後に設定が完了します。
(ブザーが2回鳴ります)

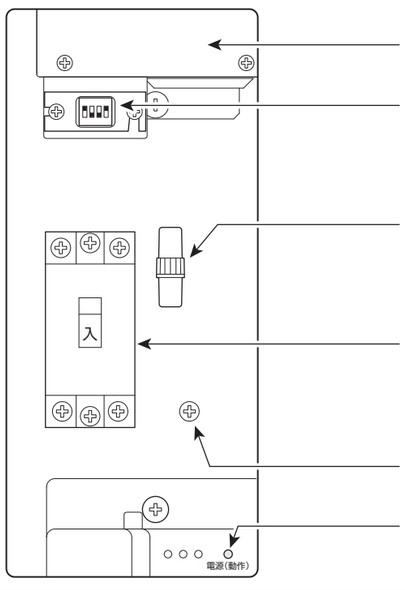
⑦ 必要に応じて､照明･ブザーを設定します。
(設定の仕方 17項参照)
【出荷時の設定】
・ 照明 “作動時点灯モード”
・ 警告ブザー “鳴る”



⑧ コントロールカバープレートを取付けます。

12. 各部の名称と働き（電動支柱）





コントロールボックス

照明・ブザー設定スイッチ

照明の点灯・消灯/ブザーの入・切を設定します
(17項参照)

ヒューズ

電動で作動しなくなった場合は、このヒューズを
確認して下さい。(取扱説明書 13ページ参照)

電源スイッチ（安全ブレーカー）

電源ユニットの主電源を入・切します
切にしますと、全ての機能が停止します

アース用ビス

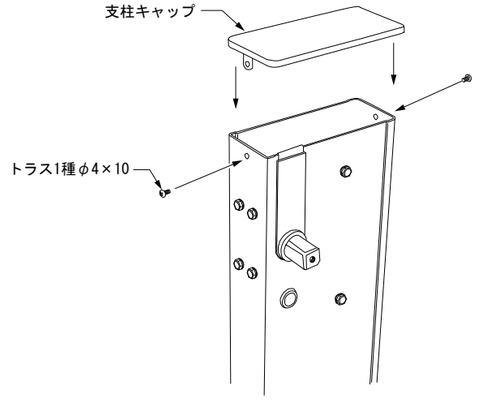
リモコン受信機電源ランプ

電源スイッチを入にすると点灯します

5. 支柱キャップの取付（手動支柱）

⚠ 注意

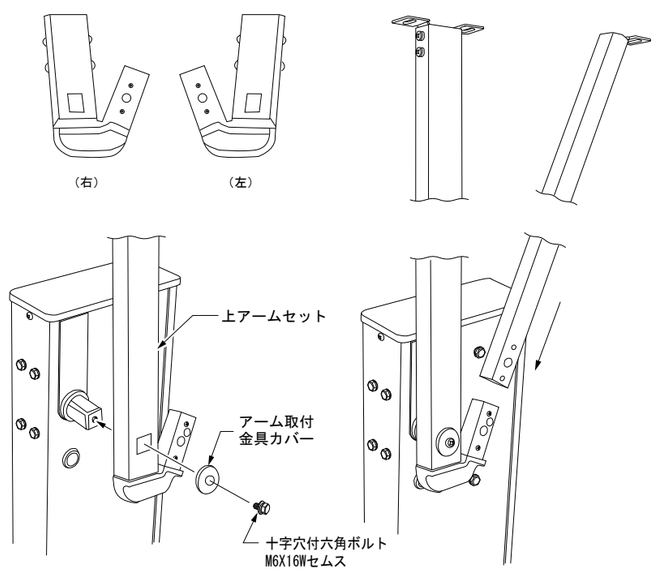
・手動柱を埋設する前に必ず支柱キャップを取り付けてください。
手動柱内に雨水が入り、故障の原因になります。



①手動柱に、支柱キャップ取付ネジ（トラス1種φ4×10）
で取り付けてください。

6. 上アームの取付

①上アームセットをシャフトに差し込みます。
②アーム取付金具カバー、十字穴付六角ボルト
M6X16Wセムスで固定します。

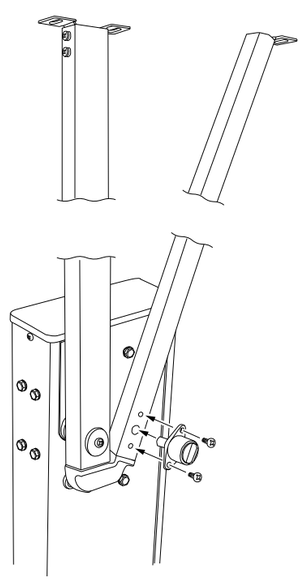


⚠ 警告

・上アームセットには左右がありますので、確認の上、取り付けてください。（組付後、左右の表示シールは見えなくなります。）
・六角ボルトは確実にしっかりしめ込んでください。外れるとアームが外れ扉が落下する等、事故につながります。

7. 下アームの取付

①下アームをアーム取付金具に差し込みます。
②ロック本体と一緒に十字穴付六角ボルト
M6X16Wセムスで止めます。

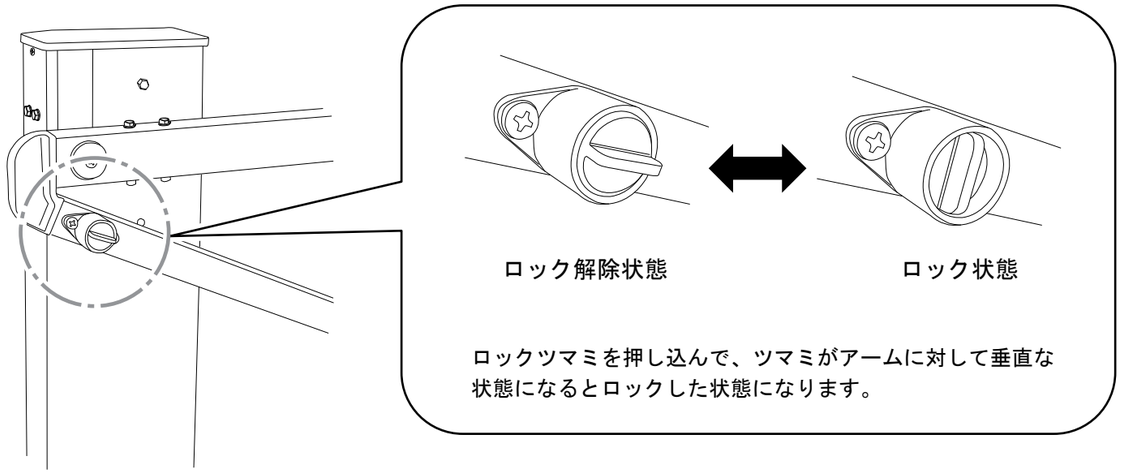


⚠ 注意

・ロックがスムーズに動く様、確認して止めてください。

8. ロックツマミの使用方法

⚠ 注意
・電動で扉を開ける場合は、ロックを解除して使用してください。
・強風時や長期間外出する時は、安全のため扉を下げロックを掛けてください。
（再度、電動で動かす場合は、必ずロックを解除してください。）

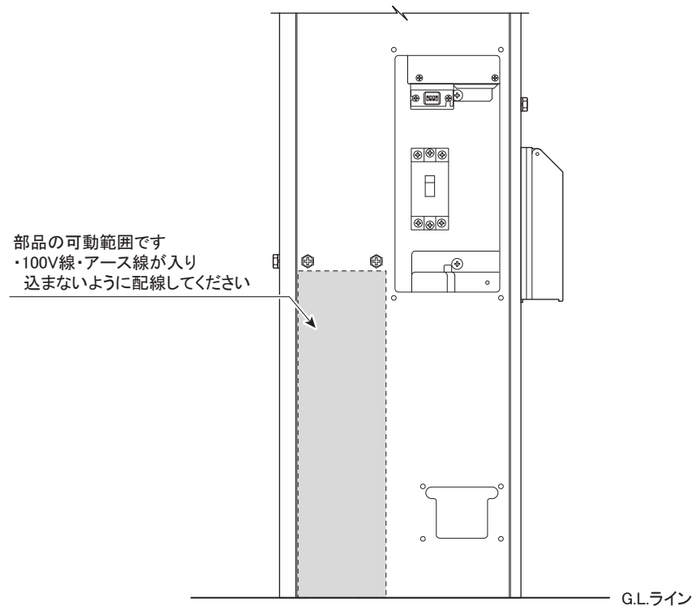


ロックツマミを押し込んで、ツマミがアームに対して垂直な状態になるとロックした状態になります。

⚠ 警告
施工終了後、ボルト・ネジなどに緩みがないか確認してください。

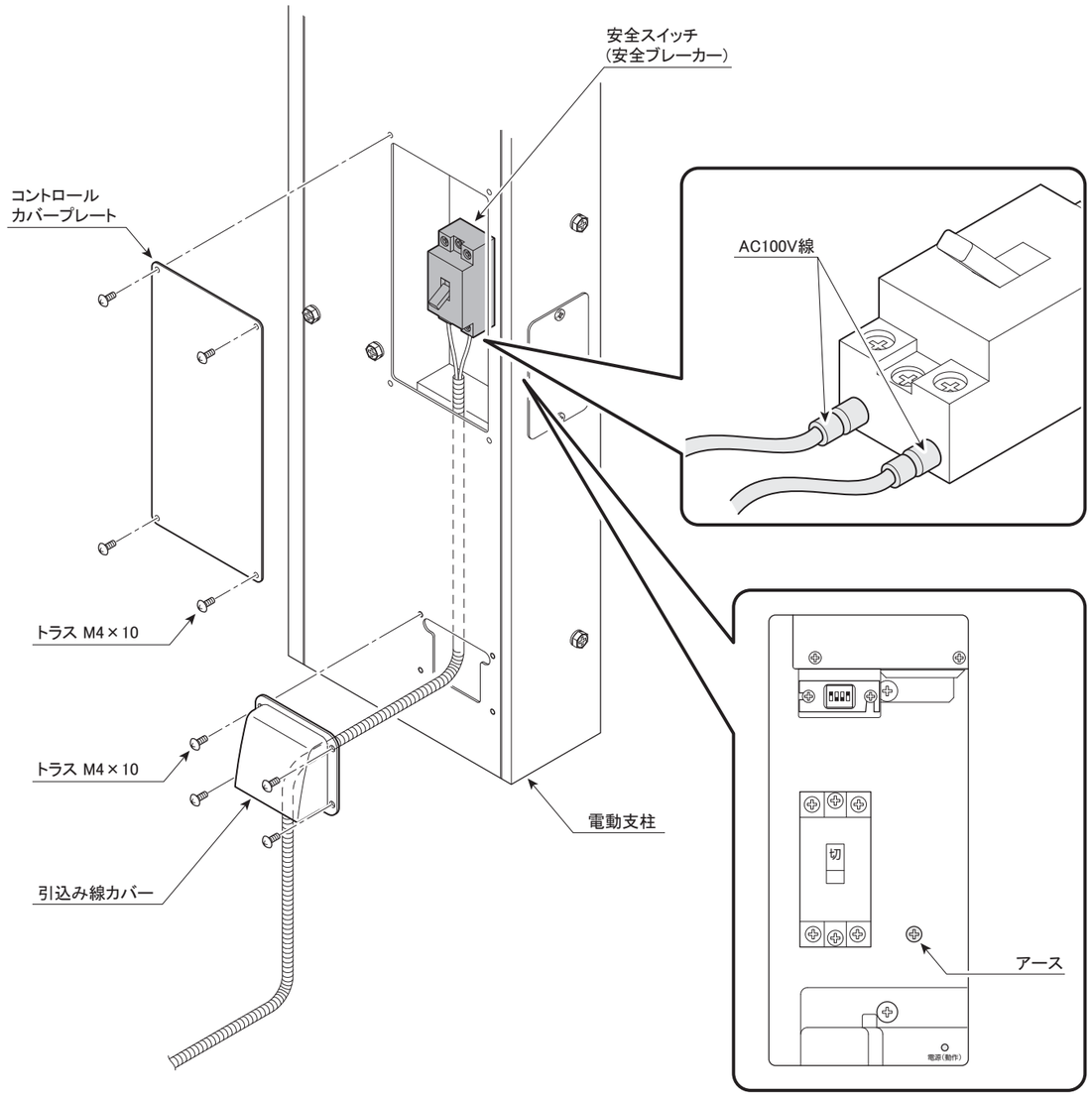
AC100V電源線の接続（つづき）

⚠ 注意
・下図にアミ掛けで示している部分は、部品の可動範囲ですので、100V線・アース線が入り込まないように配線してください。



⚠ 警告
・可動部とコード類が干渉しますと、思わぬ事故が発生する恐れがあります。

11-2. AC100V電源線の接続



① 電動支柱のコントロールカバープレートのネジ4本を外してください。

② AC100V線を、引込み線カバー、電動支柱内に通してください。

③ AC100V線を、安全ブレーカーの端子へ接続してください。
端子ネジは、確実に締め付けてください。

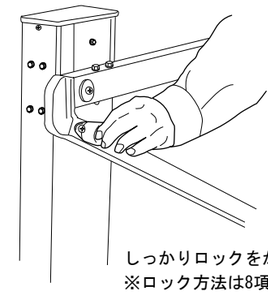
⚠ 注意
・安全ブレーカーへは、『切』の状態で接続してください。

④ 接続が終了したら、引込み線カバーを取付けてください。

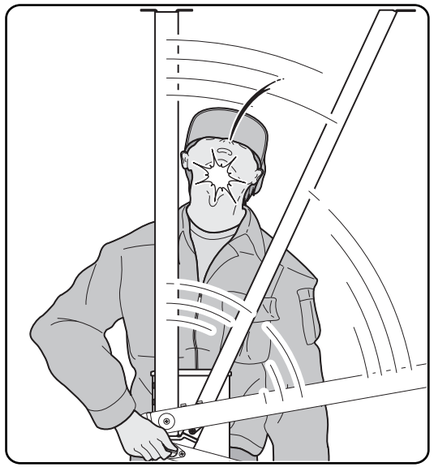
9. 扉の取付

⚠ 警告
・扉の取付けが終了するまで、電動で動かさないでください。
ケガをしたり、駆動部が破損するおそれがあります。

① 上アームを水平な状態まで下ろし、ロックつまみを
押し込んでから、90度回転してロックしてください。
このとき、できるだけ上アームの先端を握って回転
してください。
握る位置が支柱に近づくほど大きな力が必要です。
電動柱(左)も同様に行います。

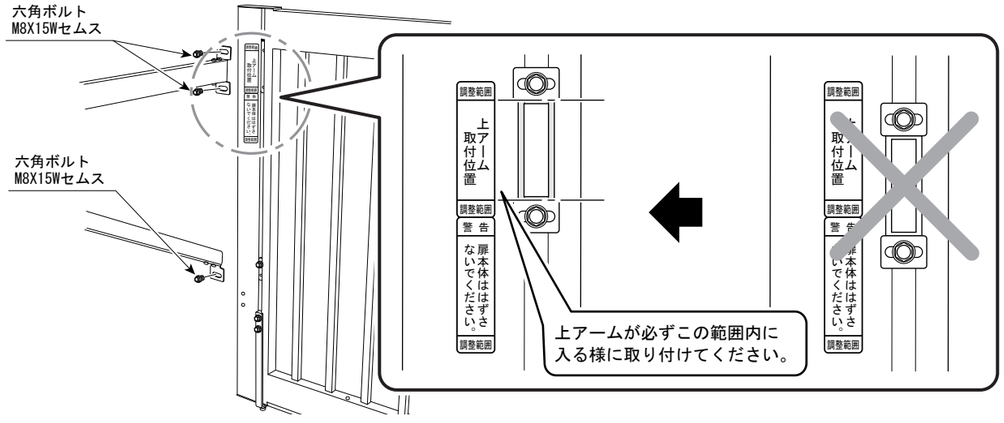


しっかりロックをかけてください。
※ロック方法は8項参照



⚠ 警告
・必ずロック解除状態でアームを回転してください。
・アームを回転するには15kg以上の力が必要です。
アームの回転の途中で手を離すとアームが跳ね上がり、ケガをしたり駆動部が破損する恐れがあります。
・電動柱側のアームを回転させる場合は、モーターの抵抗がありますので、ゆっくり回転させてください。
急に動かしますと、駆動部が破損する恐れがあります。
・扉の取付が終わるまでロックは解除しないでください。
ロックを解除するとアームが跳ね上がり危険です。ケガをしたり、駆動部が破損する恐れがあります。

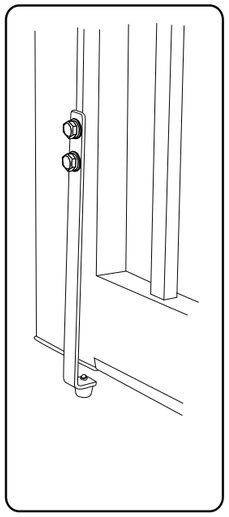
② 六角ボルトM8X15Wセムスで、取り付けてください。



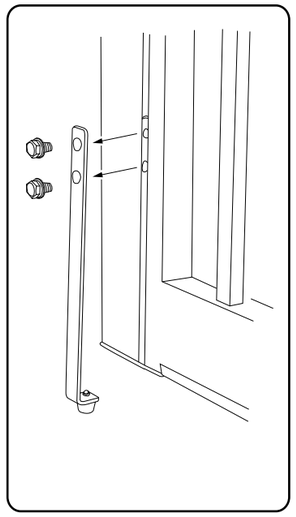
⚠ 警告
・扉取付ネジは確実にしっかり取付けてください。
ゆるんで外れると扉が落下する等事故につながります。
・扉とアームの取付位置がズレているとバランスが崩れ、扉の開閉に支障をきたし、途中で停止したり耐久性に影響します。

10. 補助ストッパーの調整

① 仮止めされている六角ボルトM8X15W
セムスを外して補助ストッパーを外
します。

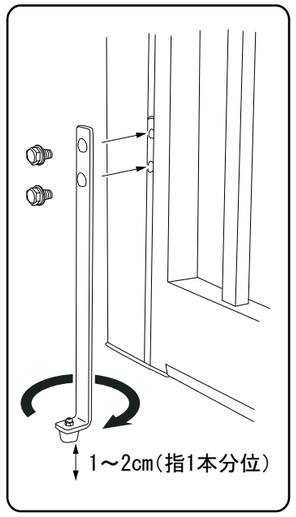


梱包状態



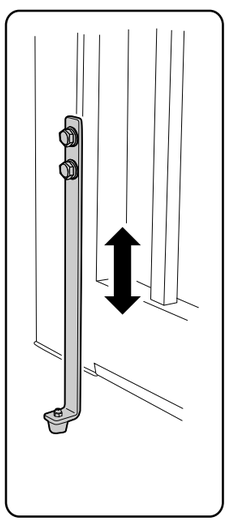
補助ストッパーを
取り外す

② 向きを変えGLラインから1～2cm離し
てしっかり固定してください。



向きを180°回転
させて取り付ける

③ 初期設定終了後、電動で扉を数回作動
させた後、再度補助ストッパー位置を
調整してください。



補助ストッパー位置を
再調整してください

⚠ 注意

- モータが停止する前に、補助ストッパーがG.L.面に当たらないよ
うに調節してください。
- モータが停止する前に、補助ストッパーがG.L.面に当たると、安
全装置が働き少し開いて停止します。
- 補助ストッパーを伸ばしすぎたり、引き込みすぎると駆動部が破
壊、または耐久性能が低下するおそれがあります。

11. 配線

11-1. 電源の配線

⚠ 注意

- AC100V線の施工に関しては、電気工事の有資格者に依頼して
ください。
- 施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカーおよび埋設用PF
管(呼び径14)、電源ケーブル、アース棒が必要になりますの
でご用意ください。
- 電源用電線ケーブルは、必ず過電流保護付漏電ブレーカーに
接続してください。
- 電源支柱には、D種接地工事を行ってください。